

平成31年度（平成31年4月入学）・平成30年度（平成30年秋入学）

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科

博士後期課程学生募集要項

目次

一般入試（第Ⅰ期・第Ⅱ期・秋入学） ..... 1  
 社会人特別入試（第Ⅰ期・第Ⅱ期・秋入学） ..... 10  
 外国人留学生特別入試（平成31年4月入学・平成30年秋入学） ..... 19

専攻名	一般入試			社会人特別入試			外国人留学生特別入試	
	第Ⅰ期	第Ⅱ期	秋入学	第Ⅰ期	第Ⅱ期	秋入学	4月入学	秋入学
バイオテクノロジー専攻	6名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
物質・材料化学専攻	13名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
電子システム工学専攻	5名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
設計工学専攻	10名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
デザイン学専攻	5名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
建築学専攻	7名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
先端ファイブロ科学専攻	8名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
バイオバースマテリアル学専攻	6名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
出願期間	第Ⅰ期：平成30年9月3日～9月7日 第Ⅱ期：平成31年1月4日～1月10日 秋入学：平成30年6月29日～7月5日						4月入学： 平成31年1月4日～1月10日 秋入学： 平成30年6月29日～7月5日	
学力検査日	第Ⅰ期：平成30年9月20日 第Ⅱ期：平成31年1月31日 秋入学：平成30年8月21日						4月入学：平成31年1月31日 秋入学：平成30年8月21日	
合格発表	第Ⅰ期：平成30年10月3日 第Ⅱ期：平成31年2月13日 秋入学：平成30年9月4日						4月入学：平成31年2月13日 秋入学：平成30年9月4日	
入学手続期間	第Ⅰ期：平成30年11月15日～11月22日 第Ⅱ期：平成31年3月22日～3月27日 秋入学：平成30年9月7日～9月13日						4月入学： 平成31年3月22日～3月27日 秋入学： 平成30年9月7日～9月13日	

# 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科 博士後期課程学生募集要項

## I 一般入試

### 1 募集人員

専攻名	募 集 人 員		
	4月入学		秋入学
	第I期	第II期	
バイオテクノロジー専攻	6名	若干名	若干名
物質・材料化学専攻	13名	若干名	若干名
電子システム工学専攻	5名	若干名	若干名
設計工学専攻	10名	若干名	若干名
デザイン学専攻	5名	若干名	若干名
建築学専攻	7名	若干名	若干名
先端ファイブプロ科学専攻	8名	若干名	若干名
バイオベースマテリアル学専攻	6名	若干名	若干名

《注》 入試の結果によっては、第I期において合格者が募集人員に満たない場合があります。また、第II期・秋入学においては合格者がいない場合があります。

### 2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する人としてします。

- (1) 修士の学位または専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する人及び平成31年3月（秋入学の場合は平成30年9月）までに授与される見込みの人
- (2) 外国の大学において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された人及び平成31年3月（秋入学の場合は平成30年9月）までに授与される見込みの人
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された人及び平成31年3月（秋入学の場合は平成30年9月）までに授与される見込みの人
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された人及び平成31年3月（秋入学の場合は平成30年9月）までに授与される見込みの人
- (5) 文部科学大臣の指定した人（文部省告示第118号）《注 参照》

※ 文部科学大臣の指定した人とは、次のいずれかに該当する人です。

- ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した人で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する人と同等以上の学力があると認めた人
- ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、または外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した人で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する人と同等以上の学力があると認めた人

- (6) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する人と同等以上の学力があると認めた人で、平成31年3月（秋入学の場合は平成30年9月）までに24歳に達する人《注 参照》

《注》 ⑤または⑥の資格で出願する場合は、出願前に出願資格の認定審査を行いますので、『3 出願資格認定審査』に基づき審査の申請手続きを行ってください。

### 3 出願資格認定審査

- (1) 『2 出願資格(5)または(6)』の資格で出願を希望される人は、以下に記載の「出願資格認定審査申請期限」までに、申請書類の提出が必要となりますので入試課大学院入試係へ問い合わせてください。

入試区分	出願資格認定審査申請期限	出願資格認定審査結果通知
第Ⅰ期	平成30年8月3日(金)16時まで	平成30年9月3日(月)まで
第Ⅱ期	平成30年11月29日(木)16時まで	平成31年1月4日(金)まで
秋入学	平成30年6月4日(月)16時まで	平成30年6月29日(金)まで

(注) 第Ⅰ期における出願資格認定審査の結果、本研究科から出願資格があると認められた人は、第Ⅱ期に出願する際の前掲手続きは必要ありません。

- (2) 審査の結果、出願資格を有すると認定された人は、改めて『5 出願手続』に基づき、出願手続を行ってください。

### 4 出願期間(インターネット出願システム入力期間及び出願書類提出期間)

入試区分	インターネット出願システム入力期間及び出願書類提出期間
第Ⅰ期	平成30年9月3日(月)から平成30年9月7日(金)まで
第Ⅱ期	平成31年1月4日(金)から平成31年1月10日(木)まで
秋入学	平成30年6月29日(金)から平成30年7月5日(木)まで

持参の場合は、土曜日・日曜日・祝日を除きます。受付時間は、9時から12時まで及び13時から16時までです。なお、郵送の場合は、それぞれの出願期間最終日までの消印(日本国内)があるものについて受け付けます。上記の期間内にインターネット出願システムの入力及び検定料支払手続きを行い、印刷のうえ出願書類を提出してください。

※インターネット出願システムの入力のみでは出願手続きは完了しません。必ず期間内に出願書類を提出してください。

### 5 出願手続(インターネット出願)

出願に際しては、本募集要項等を熟読し、登録漏れ、誤りのないようにしてください。

受験票は、システム入力及び検定料支払手続終了後、各自でインターネット出願システムから印刷し、試験当日に持参してください。

すべての提出書類の右上に入学願書印刷時に付番されている「受験番号」を記載してから提出してください。

- |                      |  |
|----------------------|--|
| (1) 入学願書             | インターネット出願システムにて所定の事項を入力し、出願者の写真をインターネット出願システムにアップロードしてください。その後、検定料の支払い手続き(6 検定料の支払い 参照)を行い、入学願書を印刷、提出してください。   |
| (2) 学業成績証明書          | 学部及び大学院の両方が必要です。出身大学または在籍大学の学長もしくは学部長(研究科長)が作成したものを提出してください。《注1》   |
| (3) 修士(専門職学位)課程修了証明書 | 出身大学の修士(専門職学位)課程修了証明書。ただし、平成31年3月(秋入学の場合は平成30年9月)修了見込みの人は、修士(専門職学位)課程修了見込証明書とします。《注2》  |
| (4) 修士論文とその概要        | 修士論文(修士課程における特定の課題についての研究成果等これに相当するものを含む。)とその概要(日本語1,000字または英語500語程度に要約したものを)を提出してください。ただし、修士課程修了見込みの人は、修士論文の研究題目あるいは修士課程における特定の課題とその研究の進捗状況について、日本語2,000字以内に要約した研究経過報告書を提出してください。《注3》 |
| (5) 研究計画書            | インターネット出願システムより様式をダウンロードし、希望指導教員と相談のうえ、教員の確認印をもらって提出してください。確認印のないものは出願を認めません。  |

- 
- (6) その他
- ア. 現在、他の大学院（博士後期課程）に在学中の人は、当該大学院の受験許可書
- イ. 官公庁、企業等に在職中のまま入学しようとする人は、所属長の受験承諾書（社会人特別入試を希望する人は、10頁以降参照）
- ウ. 外国人の人は、在留資格の確認をしますので、在留カードを提示してください。
- 

《注1》『2出願資格(5)または(6)』の資格で出願する場合は、出身大学または最終出身学校の学業成績証明書とし、学長または学部長もしくは学校長が作成したものとします。

《注2》『2出願資格(5)または(6)』の資格で出願する場合は、出身大学または最終出身学校の卒業証明書とします。

《注3》『2出願資格(5)または(6)』の資格で出願する場合は、提出は不要です。

※一部の出願書類については本学ホームページの入試情報 ([http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.html](http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.html)) よりダウンロードできます。

※その他、必要に応じて別途書類の提出を求めることがあります。

※出願書類に係る個人情報、出願後の連絡、受験資格の確認、入学者の選抜、統計調査、合格通知及び入学手続きのみに使用します。

※入学選抜における個人の成績は、入学選抜の他、成績管理・分析及び各種統計資料作成、入試結果調査、入学科・授業料免除申請者の選考及び奨学金申請者の採用推薦選考のみに使用します。

## 6 検定料の支払

30,000円

支払方法はコンビニエンスストア・クレジットカード・銀行ATM（ペイジー）より、選択が可能です。インターネット出願システムに表示される案内に従って、期日までに支払手続きを行ってください。なお、支払には別途手数料がかかります。（ただし、平成31年3月（秋入学の場合は平成30年9月）に本研究科博士前期課程修了見込みの人は、検定料は不要です。）

### ※ 検定料の免除

出願期間前の概ね1年以内に、大規模な風水害等により被害を受けた人は、願い出により検定料の全額を免除することがありますので、該当すると思われる人は、検定料を振り込む前のできるだけ早い時期に入試課大学院入試係に申し出てください。

## 7 障害等のある人との事前相談について

本学を志願しようとする人で、障害等のある人は、受験上及び修学上必要な配慮を行いますので、出願の前にあらかじめ本学に申し出てください。

なお、出願書類提出後でも、同配慮を必要とする場合は、相談の締切日にかかわらず、速やかにご相談ください。相談が必要となる場合の事前手続は、次のとおりです。

### ① 相談の時期

原則として、出願期間の1週間前までに申し出てください。

### ② 相談の方法

相談書類（健康診断書などの必要書類）を提出してください。必要な場合は、本学において志願者の事情を説明できる人との面談を行います。

## 8 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査及び書類選考により行います。

## 9 アドミッションポリシー

各専攻では、専攻に係る専門的な教育研究をすることにより、以下に掲げる人材を育成します。また、この専門的な教育を修めて研究を遂行するために、以下に掲げる能力や適性を持つ人を求めます。

### バイオテクノロジー専攻

#### 人材育成の目標

分子から生態までの広範な領域の生命現象に関する基礎知識を修得するとともに、その有効利用のためのバイオテクノロジーを活用して、ワールドワイドに広い分野で活躍できる研究者・リーダー的技術者の育成を目指します。

#### 選抜の方針・ポリシー

生物学、生物化学に関し特に優れた知識を有し、実験科学に関する豊かな創造性、英文の読解や表現に優れた人を求めます。

#### 求める能力と適性

- ・生命と自然に対する敬愛
- ・探求心と観察力
- ・柔軟な発想
- ・独創的チャレンジ精神
- ・コミュニケーション力

### 物質・材料化学専攻

#### 人材育成の目標

物質・材料化学専攻では、生体機能への化学的アプローチ（バイオインスパイアード化学）、ナノ・マテリアル、精密物質設計・合成（モレキュラーデザイン）、ソフトマテリアル、フォトエレクトロニクスなどの領域における教育研究を通じて、次代を担う革新的な物質・材料開発研究において基礎及び応用の両面で先導的な役割を果たす、創造性豊かで実践的外国語能力や国際経験を持ち国際舞台で活躍できる優れた人材の育成を目指します。

#### 選抜の方針・ポリシー

物質・材料化学における開発研究に強い興味と意欲を持ち、創造的研究を遂行する上で不可欠な基礎知識、英語の理解力及び問題解決能力を備えた者を選抜します。

#### 求める能力と適性

- ・自然科学全般及びその社会貢献への関心
- ・物質・材料化学の研究に関する素養
- ・基礎的な研究立案能力及び論文作成能力
- ・論理的思考力
- ・グローバルな視野

### 電子システム工学専攻

#### 人材育成の目標

エレクトロニクス基盤技術や情報通信技術を修得するとともに、電子システム工学に関する高度な専門性を基盤として特定の課題を探索し解決する能力を有し、俯瞰的視野に立って課題発見能力を有する人材、さらに、課題解決が社会に提供する価値を最大化する方向に向けて知の構造化、再構成をはかる能力を有する人材の育成を目指します。

#### 選抜の方針・ポリシー

修学及び研究活動に必要な英語力並びに専門基礎学力を求めます。

#### 求める能力と適性

- ・電子システム工学に関する専門知識
- ・論理的な思考力と設計能力
- ・数理的解析能力
- ・感性と創造力
- ・自己表現能力
- ・チャレンジ精神と行動力

## 設計工学専攻

### 人材育成の目標

設計工学専攻を構成する個別工学分野における高度の専門性を習得し、研究・開発を創造的に展開できる能力を有する人材の育成、個別工学の専門性を基盤として、ものづくりを価値基準設定から設計、製作、評価へと展開する設計工学の手法を習得した人材の育成を目指します。

### 選抜の方針・ポリシー

個別工学分野の高度の専門性を習得するための基礎学力、ものづくりの創造的な展開に対する意欲と実行力、グローバルに活動を展開するための言語運用能力等を選抜の基準とします。

### 求める能力と適性

- ・個別工学の専門性を深めるための基礎学力を有し、既成概念にとらわれない判断力を有する人
- ・個別工学の枠を越えたものづくりを創造的に開拓・展開しようとする意欲と実行力を有する人

## デザイン学専攻

### 人材育成の目標

#### ①デザイン学領域

専門的デザイン能力をベースに、京都独自の伝統意匠の理論・方法論も活かして革新的な製品やサービスをデザインするとともに、社会問題を解決できるデザイン能力、発見能力を持つ。また、海外招聘のデザイナーや研究者の指導のもと、異分野混合チームでのプロジェクト等を経験させることで、国際的に展開・実装する能力を修得させる。

#### ②価値創造学領域

美術、デザイン、建築などの作品や作者についての深い洞察に根ざした「論理構築」とキュレーション（展示企画）の実現と、作品や作者の「価値」を自らの視点で言葉や展示にして、世界に発信することができる人材の育成を目的とする。

### 選抜の方針・ポリシー

デザインに関する応用的・横断的知識と制作経験を持ち、柔軟で独創的な発想力を備え、深いデザインとその周辺知識に加え実践的なデザイン方法論を研究・実践していく意欲ある人を求めます。また、知識習得ならびに理論的研究のみならず、美術館・博物館での展示等の社会的実践に繋げていく意欲のある人を求めます。

### 求める能力と適性

- ・美に対する感受性
- ・人間や環境に対する深い関心
- ・理論と実践のバランス
- ・独創的な思考力と展開力
- ・強い意欲と行動力と実装力

## 建築学専攻

### 人材育成の目標

本専攻は、博士前期課程同様に、京都において都市・建築学を学ぶことの意味を最大限に活かした教育・研究を行う。地球規模で考えながら、京都という場でしか掴み得ない能力を磨くこと。本専攻ではこれを<KYOTO デザイン>と銘打って教育、研究、実務を行い、地域と歴史に根ざすとともに国際的な競争力のある高度な都市・建築専門家及び高い専門性を持つ自立した研究者を育成する。博士前期課程で身に付けた知識・技能あるいは、実社会で身に付けた実践的設計能力と実績に基づいて、後期課程では、より高度な設計哲学とそれに基づく実践的な設計能力の評価、さらに、研究者・教育者としてのより専門性の高い研究を実践する。具体的には、都市や建築のストック評価のための建築史、再生・活用のための計画論、そしてそれらを具体的な都市空間や建築として統合するための表現論といった3つの領域に対して、それぞれ研究を行い、新たな設計論、空間理論を構築するとともに、それを実践した建築作品の専門誌への作品掲載、様々な建築設計競技へのエントリー、または学会誌への掲載を経て、それらを統合する形での統合論文をもって学位授与対象として審査を行う。また、建築ストックの保全や都市再生に関わる技術・技能に関してより専門性の高い研究を行い、新たな技術や理論を開拓する。具体的には、ストック評価のための建築史、建築の用途変更や保全のための新たなサステナビリティ計画論、既存の構築物を診断、補強するための建築保存工学、修復・再生のための保存活用デザイン、ストックを社会的に扱うための再生マネジメントの5つの分野に対して、それぞれ調査・研究を行い新たな技術・理論の開拓を行う。その結果として、そうした新たな技術や理論を自ら開拓でき、さ



らにそれを背景として、ストック社会の構築をリードできる人材が養成される。

### **選抜の方針・ポリシー**

国際的な競争力のある高度な都市・建築専門家及び高い専門性を持つ自立した研究者になるための素養を持ち、なおかつ、京都において都市・建築学を学ぶことの意味を理解し、地球規模で考えながら、幅広い建築学の能力を磨く強い意志を持っている人を求めます。

### **求める能力と適性**

- ・ストック評価のための建築史
- ・建築の用途変更や保全のための新たなサステナビリティ計画論
- ・既存の構築物を診断、補強するための建築保存工学
- ・修復・再生のための保存活用デザイン
- ・ストックを社会的に扱うための再生マネジメントなどの分野に対して、調査・研究を行い新たな技術・理論の開拓を行うための適性と能力。

## **先端ファイブ科学専攻**

### **人材育成の目標**

テキスタイルサイエンス・エンジニアリングを基礎とする「人と環境に優しいものづくり」に関する教育研究活動を通して、自らの力で研究開発目標を設定し、それを具現化するための技術課題を見出し、さらには解決することができる総合的に優れた国際的に通用する人材を育成することを目標とします。

### **選抜の方針・ポリシー**

自然科学に関する基礎学力を備え、自身の研究に閉じこもること無く広く知識を得ようとする深い感性と、問題を発見・解決し、それを論理的に説明する能力があり、研究成果が社会に還元できるよう常に自ら思考し実行する情熱と忍耐力のある人を求めます。

### **求める能力と適性**

エンジニアリングデザイン能力：社会の要求を解決するために、他人と協調して新しいテキスタイルエンジニアリング技術を創出することができる。

専門性と創造力：ファイブ素材やその利用製品の設計、開発、評価技術に関して高い専門性を有し、新たな人に優しいファイブ製品を創造することができる。

コミュニケーション能力：国内外を問わず、専門的な内容の論理的な文章の記述、口頭発表および討論ができ、また、背景の異なる他人や組織を相手に自分の意見を的確に伝えることができる。

## **バイオベースマテリアル学専攻**

### **人材育成の目標**

これからの世界で主力となるバイオベースプロダクトに対する深い知識を持つだけでなく、学修・研究成果を国際社会の中で活かすための方向性を理解し、バイオベースマテリアルの開発において研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度な研究能力及びその基礎となる豊かな学識を持ち、世界をリードできる人材を育成する。

### **選抜の方針・ポリシー**

将来にわたって豊かな人間生活を保持するために持続可能な社会を実現する必要性を理解し、有機化学、物理化学、生化学、高分子化学、材料科学の内の少なくとも一つに十分な知識を有し、かつ他分野の知識の習得とバイオベースマテリアルの研究に意欲的に取り組み、その実現を目指す人を求めます。

### **求める能力と適性**

- ・バイオベースマテリアル (BBM) に対する強い興味と関心
- ・応用化学、生物工学、または材料科学に関する十分な基礎知識
- ・新しい BBM 開発や BBM のさらなる展開を目指す強い意志と、関連分野の学修に対する旺盛な意欲
- ・国際的な舞台上で、創造的に新しい社会を開拓しようとする意欲と行動力

## 10 学力検査日時、検査方法及び場所等

### (1) 学力検査日時

第Ⅰ期	平成30年9月20日（木）10時30分から
第Ⅱ期	平成31年1月31日（木）10時30分から
秋入学	平成30年8月21日（火）10時30分から

### (2) 検査方法（第Ⅰ期・第Ⅱ期・秋入学共通）

専攻名	区分	学力検査科目・時間	配点	内容
全専攻	筆記試験	外国語 10:30~12:00 (90分)	100	英語
先端ファイブプロ科学専攻	口述試験	13:00~	200	研究分野に関連した科目についての専門的 学力、修士論文、研究経過報告書、研究計 画書等について実施する。
上記を除く専攻		13:30~		

### (3) 試験場

京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス（京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地）

試験室等は、次の日までに本学のホームページ

（[http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.html](http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.html)）及び入試課前掲示板に掲示します。

第Ⅰ期：平成30年9月19日（水）

第Ⅱ期：平成31年1月30日（水）

秋入学：平成30年8月20日（月）

### (4) 受験についての注意共通の注意事項

- ① 受験者は、試験の当日インターネット出願システムより印刷した受験票を持参し、監督者等の指示に従って提示してください。持参していない場合は、受験できないことがあります。万一、紛失した場合または忘れた場合は入試課へ申し出てください。
- ② 受験者は、試験の当日試験開始30分前までに試験場に到着してください。
- ③ 受験者は、各試験科目開始20分前までに所定の試験室に入り、自分の受験番号の席に着いてください。
- ④ 試験開始後、試験室に30分以上遅刻してきた場合は受験することができません。
- ⑤ 指定の科目等を1科目でも受験しなかった場合は、全試験を放棄したものとみなされ、以後は受験することができません。
- ⑥ 試験には、黒鉛筆又はシャープペンシル及び消しゴムを持参してください。
- ⑦ 試験中は、受験票並びに監督者の指示するもの以外は机の上に置いてはいけません。
- ⑧ 試験中、不正行為をした者及び不正行為とみなされる行動があった者、または監督者の指示に従わない者は、直ちに受験の停止を命じます。
- ⑨ 身体の都合等により定められた試験室において受験することが困難と思われる人は、事前に入試課に申し出てください。
- ⑩ 試験時間中に気分が悪くなったり、受験することが困難と思われたときは、監督者に申し出て、その指示に従ってください。この場合、医務室で一時休養の後、試験室に復帰することは可能ですが、試験時間の延長は認めません。また、次の試験時間の遅刻限度を超過した場合は、当該試験の受験も認めません。
- ⑪ 計時以外の機能が付いた時計及びこれと同様の機能をもつ文房具の持込を禁止します。
- ⑫ 携帯電話は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し電源を切ってカバン等の中にしまっておいてください。携帯電話を時計として使用できません。また、時計もアラームの設定を解除し、鳴らない状態にしておいてください。
- ⑬ 文字や数式等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は、裏返して着ていただくことがあります。座布団、膝掛けは、文字や数式等がプリントされていないものに限り使用を認めます。



## 11 合格発表

次の日時に合格者の受験番号を本学のホームページ ([http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.html/](http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.html/)) に発表します。なお、同時に合格者には、受信場所宛に合格通知書を郵便により送付します。

第Ⅰ期：平成30年10月3日（水）17時（予定）

第Ⅱ期：平成31年2月13日（水）17時（予定）

秋入学：平成30年9月4日（火）17時（予定）

## 12 入学手続

合格者は、次の日時に入学手続きを行ってください。なお、入学手続き書類は合格通知書に同封します。

### 第Ⅰ期

大学において直接入学手続きを行う場合 平成30年11月22日（木）9時から17時まで

郵送により入学手続きを行う場合 平成30年11月15日（木）から平成30年11月22日（木）（17時必着）まで

### 第Ⅱ期

大学において直接入学手続きを行う場合 平成31年3月27日（水）9時から17時まで

郵送により入学手続きを行う場合 平成31年3月22日（金）から平成31年3月27日（水）（17時必着）まで

### 秋入学

大学において直接入学手続きを行う場合 平成30年9月13日（木）9時から17時まで

郵送により入学手続きを行う場合 平成30年9月7日（金）から平成30年9月13日（木）（17時必着）まで

## 13 入学に要する経費

(1) 入学料 282,000円

(ただし、平成31年3月（秋入学の場合は平成30年9月）に本研究科博士前期課程を修了し、引き続き平成31年4月（秋入学の場合は平成30年10月）に本研究科博士後期課程に進学する人は不要です。)

(2) 授業料 267,900円（半期） 535,800円（年額）

① 入学料及び授業料の額は、改定される場合があります。

② 入学料の納入は、入学手続時に行います。入学時に入学料及び授業料が改定された場合は、改定後の入学料及び授業料の額が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料の額が適用されます。

③ 授業料の納入は、年間の授業料について、前期及び後期の二期に区分して行います。納入月は前期は4月、後期は10月で、それぞれの期において納入する額は、年額の二分の一に相当する額です。

④ 入学時及び前期の納入月に年額授業料を一括して納入することもできます。

⑤ 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

⑥ 入学手続時に授業料を納入した後で、平成31年3月29日（秋入学の場合は平成30年9月26日）までに入学を辞退した場合は、申し出により当該授業料相当額を返還します。

(3) 学生教育研究災害傷害保険料

3年間の保険料 2,600円（予定）

(4) 学生教育研究災害傷害保険付帯賠償責任保険料3

年間の保険料 1,020円（予定）

(5) その他、必要に応じて納入する諸費用があります。

・納入方法の詳細については、合格通知書に同封します。

・平成31年3月29日（秋入学の場合は平成30年9月26日）までに入学を辞退した場合、入学料以外を返還します。返還の方法については学務課学務企画係に連絡してください。

## 14 入学料・授業料の免除等制度

入学料・授業料の納入が経済的理由により困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、願い出により選考のうえ、入学料・授業料の全額または半額を免除もしくは入学料・授業料の徴収が猶予される制度があります。

## 15 奨学金制度

- (1) 独立行政法人日本学生支援機構奨学金制度があり、学業、人物ともに優秀で経済的理由のため修学困難と認められる場合は、願い出により選考のうえ、奨学金の貸与を受けることができます。奨学金の種類には、第一種（無利子）と第二種（有利子）があります。
- (2) 返還免除の制度  
本学の大学院において独立行政法人日本学生支援機構第一種奨学金貸与者で当該年度に貸与期間が終了する者のうち、特に優れた業績をあげたとして機構が認定した人は、全額または一部の返還が免除される制度があります。
- (3) 本学独自の奨学金制度として国立大学法人京都工芸繊維大学基金奨学生制度があります。  
本学大学院博士後期課程に在学する優秀な学生を対象としており、願い出により選考のうえ、奨学金の給付を受けることができます。（国費外国人留学生を除く）

## 16 注意事項

- (1) 出願書類等に次のような不備がある場合には、受理しないことがあります。
  - ① インターネット出願システム上で出願処理が完了していない場合
  - ② 出願書類がそろっていない場合
  - ③ 出願書類の記載が不完全な場合
  - ④ 検定料が支払われていない場合
- (2) 出願書類の提出後は、記載事項の変更は認めません。また、検定料及び出願書類（修士論文を除く）はいかなる理由があっても返還しません。  
ただし、次の場合には、検定料の返還請求ができます。
  - ① 検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかったまたは出願が受理されなかった）場合
  - ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合または金額を誤って払い込んだ場合

＊ 検定料返還請求の方法については、入試課大学院入試係へお問い合わせください。
- (3) 出願書類等の提出書類に虚偽の事項を記入したことが判明した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (4) 合格発表後、出願書類のうち修士論文の返却を希望する人は、出願時に申し出てください。

## II 社会人特別入試

近年におけるテクノロジーのめざましい進展に伴い、より高度の研究能力を備え指導的立場に立ち得る人材の養成が求められています。このような社会的要請に応え、各種の研究機関、教育機関、企業等において職務経歴を有する社会人に対して、大学院に受け入れの道を開くことにより大学と社会の交流を深め、あわせて大学の教育研究機関としての活性化も図ろうとするものです。このような趣旨から、博士後期課程への入学にふさわしい専門知識と学力を持つ社会人に特別入試による学生募集を実施しています。

この入試により入学した人に対しては、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育（18頁の15を参照）を実施することとしています。社会人特別入試によって入学した人は社会人コースに在籍します。社会人コースでは、コース独自の標準的な在学期間を設けています。また、在籍する各種機関等での職務または、社会人としての専門的職務あるいは志望する専攻に関する職務を、博士後期課程での修得単位として認定します。

### 1 募集人員

専攻名	募集人員		
	4月入学		秋入学
	第Ⅰ期	第Ⅱ期	
バイオテクノロジー専攻	若干名	若干名	若干名
物質・材料化学専攻	若干名	若干名	若干名
電子システム工学専攻	若干名	若干名	若干名
設計工学専攻	若干名	若干名	若干名
デザイン学専攻	若干名	若干名	若干名
建築学専攻	若干名	若干名	若干名
先端ファイブ科学専攻	若干名	若干名	若干名
バイオベースマテリアル学専攻	若干名	若干名	若干名

《注》 入試の結果によっては、合格者がいない場合があります。

### 2 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、合格後も、各種の研究機関、教育機関、企業等に正規職員として在籍したまま入学しようとする人、または、志望する専攻に関する職務を継続したまま入学しようとする人、あるいは、入学時における職の有無に関わらず、過去において志望する専攻に関する職務経歴を3年以上有する人としてします。

- (1) 修士の学位または専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する人及び平成31年3月（秋入学の場合は平成30年9月）までに授与される見込みの人
- (2) 外国の大学において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された人
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された人
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された人
- (5) 文部科学大臣の指定した人（文部省告示第118号）《注 参照》

※ 文部科学大臣の指定した人とは、次のいずれかに該当する人です。

- ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した人で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する人と同等以上の学力があると認められた人
- ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、または外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した人で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する人と同等以上の学力があると認められた人

- (6) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する人と同等以上の学力があると認められた人で、平成31年3月（秋入学の場合は平成30年9月）までに24歳に達する人《注 参照》

《注》 (5)または(6)の資格で出願する場合は、出願前に出願資格の認定審査を行いますので、『3 出願資格認定審査』に基づき審査の申請手続きを行ってください。

\* 本特別入試に出願を希望される人は、出願前に必ず指導を希望する教員と連絡をとり、教育方法の特例の具体的内容、研究内容及び出願資格等について確認してください。

### 3 出願資格認定審査

- (1) 『2 出願資格(5)または(6)』の資格で出願を希望される人は、以下に記載の「出願資格認定審査申請期限」までに、申請書類の提出が必要となりますので入試課大学院入試係〔TEL (075) 724-7162〕へ問い合わせてください。

入試区分	出願資格認定審査申請期限	出願資格認定審査結果通知
第Ⅰ期	平成30年8月3日（金）16時まで	平成30年9月3日（月）まで
第Ⅱ期	平成30年11月29日（木）16時まで	平成31年1月4日（金）まで
秋入学	平成30年6月4日（月）16時まで	平成30年6月29日（金）まで

《注》 第Ⅰ期における出願資格認定審査の結果、本研究科から出願資格があると認められた人は、第Ⅱ期に出願する際の上記手続きは必要ありません。

- (2) 審査の結果、出願資格を有すると認定された人は、改めて『5 出願手続』に基づき、出願手続を行ってください。

### 4 出願期間(インターネット出願システム入力期間及び出願書類提出期間)

入試区分	インターネット出願システム入力期間及び出願書類提出期間
第Ⅰ期	平成30年9月3日（月）から平成30年9月7日（金）まで
第Ⅱ期	平成31年1月4日（金）から平成31年1月10日（木）まで
秋入学	平成30年6月29日（金）から平成30年7月5日（木）まで

持参の場合は、土曜日・日曜日・祝日を除きます。受付時間は、9時から12時まで及び13時から16時までです。なお、郵送の場合は、それぞれの出願期間最終日までの消印（日本国内）があるものについて受け付けます。上記の期間内にインターネット出願システムの入力及び検定料支払手続きを行い、印刷のうえ出願書類を提出してください。

**※インターネット出願システムの入力のみでは出願手続きは完了しません。必ず期間内に出願書類を提出してください。**

### 5 出願手続(インターネット出願)

出願に際しては、本募集要項等を熟読し、登録漏れ、誤りのないようにしてください。

受験票は、システム入力及び検定料支払手続き終了後各自でインターネット出願システムから印刷し、試験当日に持参してください。

すべての提出書類の右上に入学願書印刷時に付番されている「受験番号」を記載してから提出してください。

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| (1) 入学願書                 | インターネット出願システムにて所定の事項を入力し、出願者の写真をインターネット出願システムにアップロードしてください。その後、検定料の支払い手続き（6 検定料の支払 参照）を行い、入学願書を印刷、提出してください。   |
| (2) 学業成績証明書              | 出身大学または在籍大学の学長もしくは学部長（研究科長）が作成した大学院の学業成績証明書を提出してください。《注1》   |
| (3) 修士（専門職学位）<br>課程修了証明書 | 出身大学の修士（専門職学位）課程修了証明書。ただし、平成31年3月（秋入学の場合は平成30年9月）修了見込みの人は、修士（専門職学位）課程修了見込証明書とします。《注2》   |
| (4) 修士論文とその概要            | 修士論文（修士課程における特定の課題についての研究成果等これに相当するものを含む。）とその概要（日本語1,000字または英語500語程度に要約したもの）を提出してください。ただし、修士課程修了見込みの人は、修士論文の研究題目あるいは修士課程における特定の課題とその研究の進捗状況について、日本語2,000字以内に要約した研究経過報告書を提出してください。《注3》 |

(5) 研究計画書	インターネット出願システムより様式をダウンロードし、希望指導教員と相談のうえ、教員の確認印をもらって提出してください。確認印のないものは出願を認めません。
(6) 就学承諾書	各種の研究機関、教育機関、企業等に在職のまま、あるいは志望する専攻に関する職務を継続したまま入学しようとする人は、勤務先の所属長が作成したものを提出してください。様式はインターネット出願システムよりダウンロード出来ます。
(7) 職務経歴書	志望する専攻に関する職務経歴を有する人は、研究・業務歴及びその業績を記入してください。 なお、職務上の業績を説明する論文、作品、図面等を参考資料として添付しても構いません。様式はインターネット出願システムよりダウンロード出来ます。
(8) その他	外国人の人は、在留資格の確認をしますので、在留カードを提示してください。

《注1》『2 出願資格 (5)または(6)』の資格で出願する場合は、出身大学または最終出身学校の学業成績証明書とし、学長または学部長もしくは学校長が作成したものとします。

《注2》『2 出願資格 (5)または(6)』の資格で出願する場合は、出身大学または最終出身学校の卒業証明書とします。

《注3》『2 出願資格 (5)または(6)』の資格で出願する場合は、提出は不要です。

※一部の出願書類については本学ホームページの入試情報 ([http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.html](http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.html)) よりダウンロードできます。

※その他、必要に応じて別途書類の提出を求められることがあります。

※出願書類に係る個人情報、出願後の連絡、受験資格の確認、入学者の選抜、統計調査、合格通知及び入学手続きのみに使用します。

※入学者選抜における個人の成績は、入学者選抜の他、成績管理・分析及び各種統計資料作成、入試結果調査、入学料・授業料免除申請者の選考及び奨学金申請者の採用推薦選考のみに使用します。

## 6 検定料の支払

30,000円

支払方法はコンビニエンスストア・クレジットカード・銀行ATM（ペイジー）より、選択が可能です。インターネット出願システムに表示される案内に従って、期日までに支払手続きを行ってください。なお、支払には別途手数料がかかります。（ただし、平成31年3月（秋入学の場合は平成30年9月）に本研究科博士前期課程修了見込みの人は、検定料は不要です。）

※ 検定料の免除

出願期間前の概ね1年以内に、大規模な風水害等により被害を受けた人は、願い出により検定料の全額を免除することがありますので、該当すると思われる人は、検定料を振り込む前のできるだけ早い時期に入試課大学院入試係に申し出てください。

## 7 障害等のある人との事前相談について

本学を志願使用とする人で、障害等のある人は、受験上及び修学上必要な配慮を行いますので、出願の前からあらかじめ本学に申し出てください。

なお、出願書類提出後でも、同配慮を必要とする場合は、相談の締切日にかかわらず、速やかにご相談ください。相談が必要となる場合の事前手続は、次のとおりです。

### ① 相談の時期

原則として、出願期間の1週間前までに申し出てください。

### ② 相談の方法

相談書類（健康診断書などの必要書類）を提出してください。必要な場合は、本学において志願者の事情を説明できる人との面談を行います。

## 8 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査及び書類選考により行います。

## 9 アドミッションポリシー

各専攻では、専攻に係る専門的な教育研究をすることにより、以下に掲げる人材を育成します。また、この専門的な教育を修めて研究を遂行するために、以下に掲げる能力や適性を持つ人を求めます。

### バイオテクノロジー専攻

#### 人材育成の目標

分子から生態までの広範な領域の生命現象に関する基礎知識を修得するとともに、その有効利用のためのバイオテクノロジーを活用して、ワールドワイドに広い分野で活躍できる研究者・リーダー的技術者の育成を目指します。

#### 選抜の方針・ポリシー

生物学、生物化学に関し特に優れた知識を有し、実験科学に関する豊かな創造性、英文の読解や表現に優れた人を求めます。

#### 求める能力と適性

- ・生命と自然に対する敬愛
- ・探求心と観察力
- ・柔軟な発想
- ・独創的チャレンジ精神
- ・コミュニケーション力

### 物質・材料化学専攻

#### 人材育成の目標

物質・材料化学専攻では、生体機能への化学的アプローチ（バイオインスパイアード化学）、ナノ・マテリアル、精密物質設計・合成（モレキュラーデザイン）、ソフトマテリアル、フォトエレクトロニクスなどの領域における教育研究を通じて、次代を担う革新的な物質・材料開発研究において基礎及び応用の両面で先導的な役割を果たす、創造性豊かで実践的外国語能力や国際経験を持ち国際舞台で活躍できる優れた人材の育成を目指します。

#### 選抜の方針・ポリシー

物質・材料化学における開発研究に強い興味と意欲を持ち、創造的研究を遂行する上で不可欠な基礎知識、英語の理解力及び問題解決能力を備えた者を選抜します。専門分野に関する社会人としての実績についても評価します。

#### 求める能力と適性

- ・自然科学全般およびその社会貢献への関心
- ・物質・材料化学の研究に関する素養
- ・基礎的な研究立案能力及び論文作成能力
- ・論理的思考力

### 電子システム工学専攻

#### 人材育成の目標

エレクトロニクス基盤技術や情報通信技術を修得するとともに、電子システム工学に関する高度な専門性を基盤として特定の課題を探求し解決する能力を有し、俯瞰的視野に立って課題発見能力を有する人材、さらに、課題解決が社会に提供する価値を最大化する方向に向けて知の構造化、再構成をはかる能力を有する人材の育成を目指します。

#### 選抜の方針・ポリシー

修学及び研究活動に必要な英語力並びに専門基礎学力を求めます。

#### 求める能力と適性

- ・電子システム工学に関する専門知識
- ・論理的な思考力と設計能力
- ・数理的解析能力
- ・感性と創造力
- ・自己表現能力
- ・チャレンジ精神と行動力



## 設計工学専攻

### 人材育成の目標

設計工学専攻を構成する個別工学分野における高度の専門性を習得し、研究・開発を創造的に展開できる能力を有する人材の育成、個別工学の専門性を基盤として、ものづくりを価値基準設定から設計、製作、評価へと展開する設計工学の手法を習得した人材の育成を目指します。

### 選抜の方針・ポリシー

個別工学分野の高度の専門性を習得するための基礎学力、ものづくりの創造的な展開に対する意欲と実行力、グローバルに活動を展開するための言語運用能力等を選抜の基準とします。

### 求める能力と適性

- ・個別工学の専門性を深めるための基礎学力を有し、既成概念にとらわれない判断力を有する人
- ・個別工学の枠を越えたものづくりを創造的に開拓・展開しようとする意欲と実行力を有する人

## デザイン学専攻

### 人材育成の目標

#### ①デザイン学領域

専門的デザイン能力をベースに、京都独自の伝統意匠の理論・方法論も活かして革新的な製品やサービスをデザインするとともに、社会問題を解決できるデザイン能力、発見能力を持つ。また、海外招聘のデザイナーや研究者の指導のもと、異分野混合チームでのプロジェクト等を経験させることで、国際的に展開・実装する能力を修得させる。

#### ②価値創造学領域

美術、デザイン、建築などの作品や作者についての深い洞察に根ざした「論理構築」とキュレーション（展示企画）の実現と、作品や作者の「価値」を自らの視点で言葉や展示にして、世界に発信することができる人材の育成を目的とする。

### 選抜の方針・ポリシー

デザインに関する応用的・横断的知識と制作経験を持ち、柔軟で独創的な発想力を備え、深いデザインとその周辺知識に加え実践的なデザイン方法論を研究・実践していく意欲ある人を求めます。また、知識習得並びに理論的研究のみならず、美術館・博物館での展示等の社会的実践に繋げていく意欲のある人を求めます。

### 求める能力と適性

- ・美に対する感受性
- ・人間や環境に対する深い関心
- ・理論と実践のバランス
- ・独創的な思考力と展開力
- ・強い意欲と行動力と実装力

## 建築学専攻

### 人材育成の目標

本専攻は、博士前期課程同様に、京都において都市・建築学を学ぶことの意味を最大限に活かした教育・研究を行う。地球規模で考えながら、京都という場でしか掴み得ない能力を磨くこと。本専攻ではこれを<KYOTO デザイン>と銘打って教育、研究、実務を行い、地域と歴史に根ざすとともに国際的な競争力のある高度な都市・建築専門家及び高い専門性を持つ自立した研究者を育成する。博士前期課程で身に付けた知識・技能あるいは、実社会で身に付けた実践的設計能力と実績に基づいて、後期課程では、より高度な設計哲学とそれに基づく実践的な設計能力の評価、さらに、研究者・教育者としてのより専門性の高い研究を実践する。具体的には、都市や建築のストック評価のための建築史、再生・活用のための計画論、そしてそれらを具体的な都市空間や建築として統合するための表現論といった3つの領域に対して、それぞれ研究を行い、新たな設計論、空間理論を構築するとともに、それを実践した建築作品の専門誌への作品掲載、様々な建築設計競技へのエントリー、または学会誌への掲載を経て、それらを統合する形での統合論文をもって学位授与対象として審査を行う。また、建築ストックの保全や都市再生に関わる技術・技能に関してより専門性の高い研究を行い、新たな技術や理論を開拓する。具体的には、ストック評価のための建築史、建築の用途変更や保全のための新たなサステナビリティ計画論、既存の構築物を診断、補強するための建築保存工学、修復・再生のための保存活用デザイン、ストックを社会的に扱うための再生マネジメントの5つの分野に対して、それぞれ調査・研究を行い新たな技術・理論の開拓を行う。その結果として、そうした新たな技術や理論を自ら開拓でき、さらにそれを背景として、ストック社会の構築をリードできる人材が養成される。

## 選抜の方針・ポリシー

国際的な競争力のある高度な都市・建築専門家及び高い専門性を持つ自立した研究者になるための素養を持ち、なおかつ、京都において都市・建築学を学ぶことの意味を理解し、地球規模で考えながら、幅広い建築学の能力を磨く強い意志を持っている人を求めます。

### 求める能力と適性

- ・ストック評価のための建築史
- ・建築の用途変更や保全のための新たなサステナビリティ計画論
- ・既存の構築物を診断、補強するための建築保存工学
- ・修復・再生のための保存活用デザイン
- ・ストックを社会的に扱うための再生マネジメントなどの分野に対して、調査・研究を行い新たな技術・理論の開拓を行うための適性と能力。

## 先端ファイブ科学専攻

### 人材育成の目標

テキスタイルサイエンス・エンジニアリングを基礎とする「人と環境に優しいものづくり」に関する教育研究活動を通して、自らの力で研究開発目標を設定し、それを具現化するための技術課題を見出し、さらには解決することができる総合力に優れた国際的に通用する人材を育成することを目標とします。また、社会人として、業務の中で、先端ファイブ科学の総合力を活用できる人材を育成することを目標とします。

### 選抜の方針・ポリシー

自然科学に関する基礎学力を備え、自身の研究に閉じこもること無く広く知識を得ようとする深い感性と、問題を発見・解決し、それを論理的に説明する能力があり、研究成果が社会に還元できるよう常に自ら思考し実行する情熱と忍耐力のある人を求めます。

### 求める能力と適性

エンジニアリングデザイン能力：社会の要求を解決するために、他人と協調して新しいテキスタイルエンジニアリング技術を創出することができる。

専門性と創造力：ファイブ素材やその利用製品の設計、開発、評価技術に関して高い専門性を有し、新たな人に優しいファイブ製品を創造することができる。

コミュニケーション能力：国内外を問わず、専門的な内容の論理的な文章の記述、口頭発表および討論ができ、また、背景の異なる他人や組織を相手に自分の意見を的確に伝えることができる。

## バイオベースマテリアル学専攻

### 人材育成の目標

これからの世界で主力となるバイオベースプロダクトに対する深い知識を持つだけでなく、学修・研究成果を国際社会の中で活かすための方向性を理解し、バイオベースマテリアルの開発において研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度な研究能力及びその基礎となる豊かな学識を持ち、世界をリードできる人材を育成する。

### 選抜の方針・ポリシー

将来にわたって豊かな人間生活を保持するために持続可能な社会を実現する必要性を理解し、有機化学、物理化学、生化学、高分子化学、材料科学の内の少なくとも一つに十分な知識を有し、かつ他分野の知識の習得とバイオベースマテリアルの研究に意欲的に取り組み、その実現を目指す人を求めます。

### 求める能力と適性

- ・バイオベースマテリアル（BBM）に対する強い興味と関心
- ・応用化学、生物工学、または材料科学に関する十分な基礎知識
- ・新しいBBM開発やBBMのさらなる展開を目指す強い意志と、関連分野の学修に対する旺盛な意欲
- ・国際的な舞台で、創造的に新しい社会を開拓しようとする意欲と行動力

## 10 学力検査日時、検査方法及び場所等

### (1) 学力検査日時

第Ⅰ期 平成30年9月20日（木）10時30分から  
 第Ⅱ期 平成31年1月31日（木）10時30分から  
 秋入学 平成30年8月21日（火）10時30分から

### (2) 検査方法（第Ⅰ期・第Ⅱ期・秋入学共通）

専攻名	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
全専攻	筆記試験	外国語 10:30~12:00 (90分)	100	英語
先端ファイブロ科学専攻	口述試験	13:00~	200	研究分野に関連した科目についての専門的 学力、職務経歴書、研究計画書及び修士論 文等について実施する。
上記を除く専攻		13:30~		

### (3) 試験場

京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス（京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地）  
 試験室等は、次の日までに本学のホームページ（[http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.html](http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.html)）  
 及び入試課前掲示板に掲示します。  
 第Ⅰ期：平成30年9月19日（水）  
 第Ⅱ期：平成31年1月30日（水）  
 秋入学：平成30年8月20日（月）

### (4) 受験についての注意

#### 共通の注意事項

- ① 受験者は、試験の当日インターネット出願システムより印刷した受験票を持参し、監督者等の指示に従って提示してください。持参していない場合は、受験できないことがあります。万一、紛失した場合はまたは忘れた場合は入試課へ申し出てください。
- ② 受験者は、試験の当日試験開始30分前までに試験場に到着してください。
- ③ 受験者は、各試験科目開始20分前までに所定の試験室に入り、自分の受験番号の席に着いてください。
- ④ 試験開始後、試験室に30分以上遅刻してきた場合は受験することができません。
- ⑤ 指定の科目等を1科目でも受験しなかった場合は、全試験を放棄したものとみなされ、以後は受験することができません。
- ⑥ 試験には、黒鉛筆またはシャープペンシル及び消しゴムを持参してください。
- ⑦ 試験中は、受験票並びに監督者の指示するもの以外は机上に置いてはいけません。
- ⑧ 試験中不正行為をした者及び不正行為とみなされる行動があった者、または監督者の指示に従わない者は、直ちに受験の停止を命じます。
- ⑨ 身体の都合等により定められた試験室において受験することが困難と思われる人は、事前に入試課に申し出てください。
- ⑩ 試験時間中に気分が悪くなったり、受験することが困難と思われたときは、監督者に申し出て、その指示に従ってください。この場合、医務室で一時休養の後、試験室に復帰することは可能ですが、試験時間の延長は認めません。また、次の試験時間の遅刻限度を経過した場合は、当該試験の受験も認めません。
- ⑪ 計時以外の機能が付いた時計及びこれと同様の機能をもつ文房具の持込を禁止します。
- ⑫ 携帯電話は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し電源を切ってカバン等の中にしめておいてください。携帯電話を時計として使用できません。また、時計もアラームの設定を解除し、鳴らない状態にしておいてください。
- ⑬ 文字や数式等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は、裏返して着ていただくことがあります。座布団と膝掛けは、文字や数式等がプリントされていないものに限り使用を認めます。

## 10 合格発表

次の日時に合格者の受験番号を本学のホームページ ([http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.html](http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.html)) に発表します。なお、同時に合格者には、受信場所宛に合格通知書を郵便により送付します。

第Ⅰ期：平成30年10月3日（水）17時（予定）

第Ⅱ期：平成31年2月13日（水）17時（予定）

秋入学：平成30年9月4日（火）17時（予定）

## 11 入学手続

合格者は、次の日時に入学手続を行ってください。なお、入学手続書類は合格通知書に同封します。

### 第Ⅰ期

大学において直接入学手続を行う場合 平成30年11月22日（木）9時から17時まで

郵送により入学手続を行う場合 平成30年11月15日（木）から平成30年11月22日（木）（17時必着）まで

### 第Ⅱ期

大学において直接入学手続を行う場合 平成31年3月27日（水）9時から17時まで

郵送により入学手続を行う場合 平成31年3月22日（金）から平成31年3月27日（水）（17時必着）まで

### 秋入学

大学において直接入学手続を行う場合 平成30年9月13日（木）9時から17時まで

郵送により入学手続を行う場合 平成30年9月7日（金）から平成30年9月13日（木）（17時必着）まで

## 12 入学に要する経費

- (1) 入学料 282,000円  
(ただし、平成31年3月（秋入学の場合は平成30年9月）に本研究科博士前期課程を修了し、引き続き平成31年4月（秋入学の場合は平成30年10月）に本研究科博士後期課程に進学する人は不要です。)
- (2) 授業料 267,900円（半期） 535,800円（年額）  
※ ① 入学料及び授業料の額は、改定される場合があります。  
② 入学料の納入は、入学手続時に行います。入学時に入学料及び授業料が改定された場合は、改定後の入学料及び授業料の額が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料の額が適用されます。  
③ 授業料の納入は、年間の授業料について、前期及び後期の二期に区分して行います。納入月は前期は4月、後期は10月で、それぞれの期において納入する額は、年額の二分の一に相当する額です。  
④ 入学時及び前期の納入月に年額授業料を一括して納入することもできます。  
⑤ 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。  
⑥ 入学手続時に授業料を納入した後で、平成31年3月29日（秋入学の場合は平成30年9月26日）までに入学を辞退した場合は、申し出により当該授業料相当額を返還します。
- (3) 学生教育研究災害傷害保険料  
3年間の保険料 2,600円（予定）
- (4) 学生教育研究災害傷害保険付帯賠償責任保険料  
3年間の保険料 1,020円（予定）
- (5) その他、必要に応じて納入する諸費用があります。
  - ・納入方法の詳細については、合格通知書に同封します。
  - ・平成31年3月29日（秋入学の場合は平成30年9月26日）までに入学を辞退した場合、入学料以外を返還します。返還の方法については学務課学務企画係に連絡してください。

## 13 入学料・授業料の免除等制度

入学料・授業料の納入が経済的理由により困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、願い出により選考のうえ、入学料・授業料の全額または半額を免除もしくは入学料・授業料の徴収が猶予される制度があります。

## 14 奨学金制度

- (1) 独立行政法人日本学生支援機構奨学金制度があり、学業、人物ともに優秀で経済的理由のため修学困難と認められる場合は、願い出により選考のうえ、奨学金の貸与を受けることができます。奨学金の種類には、第一種（無利子）と第二種（有利子）があります。
- (2) 返還免除の制度  
本学の大学院において独立行政法人日本学生支援機構第一種奨学金貸与者で当該年度に貸与期間が終了する者のうち、特に優れた業績をあげたとして機構が認定した人は、全額または一部の返還が免除される制度があります。
- (3) 本学独自の奨学金制度として国立大学法人京都工芸繊維大学基金奨学生制度があります。  
本学大学院博士後期課程に在学する優秀な学生を対象としており、願い出により選考のうえ、奨学金の給付を受けることができます。（国費外国人留学生を除く）

## 15 大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第14条に定める教育方法の特例による教育

通常、企業等において活躍中の社会人研究者・技術者が博士後期課程で学ぶ場合、勤務を離れ学業に専念することになりますが、このような就学条件を満たすことは一般的にはかなり困難です。そこで、このような社会人学生に対しては、大学院設置基準第14条に「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」ことが規定されていますので、本研究科においてはこの制度を活用し、社会人学生に対してはこの教育方法の特例による教育を実施します。

## 16 注意事項

- (1) 出願書類等に次のような不備がある場合には、受理しないことがあります。
  - ① インターネット出願システム上で出願処理が完了していない場合
  - ② 出願書類がそろっていない場合
  - ③ 出願書類の記載が不完全な場合
  - ④ 検定料が支払われていない場合
- (2) 出願書類の提出後は、記載事項の変更は認めません。また、検定料及び出願書類はいかなる理由があっても返還しません。  
ただし、次の場合には、検定料の返還請求ができます。
  - ① 検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかったまたは出願が受理されなかった）場合
  - ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合または金額を誤って払い込んだ場合  
\* 検定料返還請求の方法については、入試課大学院入試係へお問い合わせください。
- (3) 出願書類等の提出書類に虚偽の事項を記入したことが判明した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (4) 合格発表後、出願書類のうち修士論文の返却を希望する人は、出願時に申し出てください。



## 1 募集人員 Number of Students to be Admitted

専攻名 Doctoral Programs	募集人員 Number of Students to be Admitted	
	2019年(平成31年)4月入学 April Admissions for 2019	2018年(平成30年)秋入学 Fall Admissions for 2018
バイオテクノロジー専攻 Doctoral Program of Biotechnology	若干名 Limited number	若干名 Limited number
物質・材料化学専攻 Doctoral Program of Materials Chemistry	若干名 Limited number	若干名 Limited number
電子システム工学専攻 Doctoral Program of Electronics	若干名 Limited number	若干名 Limited number
設計工学専攻 Doctoral Program of Engineering Design	若干名 Limited number	若干名 Limited number
デザイン学専攻 Doctoral Program of Design	若干名 Limited number	若干名 Limited number
建築学専攻 Doctoral Program of Architecture	若干名 Limited number	若干名 Limited number
先端ファイブ科学専攻 Doctoral Program of Advanced Fibro-Science	若干名 Limited number	若干名 Limited number
バイオベースマテリアル学専攻 Doctoral Program of Biobased Materials Science	若干名 Limited number	若干名 Limited number

《注》 入試の結果によっては、合格者がありません。

Note: There may be no successful applicants, depending on the examination results.

## 2 出願資格 Eligibility

日本国籍を有しない人で、修学に必要な程度の日本語の能力を有し、次の各号のいずれかに該当する人となります。

Non-Japanese whose Japanese language proficiency will enable them to cope with Japanese coursework and who conform to at least one of the following items are eligible to apply.

- (1) 修士の学位又は専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する人及び2019年（平成31年）3月（秋入学の場合は2018年（平成30年）9月）までに授与される見込みの人

Those who have received a master's degree and/or professional degree(as per Article 5, 2) or are expected to receive one by March 2019 ( September 2018 for fall admissions) in conformance to Article 104, Section1 of the School Education Law (Act No. 9 of 1953).

- (2) 外国の大学において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された人及び2019年（平成31年）3月（秋入学の場合は2018年（平成30年）9月）までに授与される見込みの人

Those who have received at overseas universities a master's degree and/or professional degree or equivalent or are expected to receive one by March 2019 ( September 2018 for fall admissions).

- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された人及び2019年（平成31年）3月（秋入学の場合は2018年（平成30年）9月）までに授与される見込みの人

Those who have completed class subjects in Japan through distance learning programs conducted by overseas schools, receiving degrees equivalent to a master's degree and/or professional degree or those who are expected to complete one by March 2019 ( September 2018 for fall admissions).



- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された人及び2019年（平成31年）3月（秋入学の場合は2018年（平成30年）9月）までに授与される見込みの人

Those who have completed or are expected to complete courses and earned degrees equivalent to a master's degree and/or professional degree by March 2019 (September 2018 for fall admissions) at educational institutions abroad that is regarded in Japan to have graduate school courses in that country's educational system and courses specifically designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT).

- (5) 文部科学大臣の指定した人（文部省告示第118号）《注 参照》

Those designated by the MEXT Minister (under Public Notice of Ministry of Education No. 118). (See notes for details.)

※ 文部科学大臣の指定した人とは、次のいずれかに該当する人です。

Persons designated by the MEXT Minister are those who conform to at least one of the following.

- ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した人で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する人と同等以上の学力があると認めた人

Those who have graduated from a university and have engaged in research for more than two years at a university or research institute, and who also are acknowledged by the KIT Graduate School, with his/her research achievements, to have achieved an academic level equivalent or superior to that of a person with master's degree.

- ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、または外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した人で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する人と同等以上の学力があると認めた人

Those, after having completed the entire 16-year of school curriculum overseas, or having completed the curriculum that apply to 16-year of educational system in that country through distance learning in Japan, who have engaged in research for more than two years at a university or research institute, and who also are acknowledged by the KIT Graduate School, with his/her research achievements, to have achieved an academic level equivalent or superior to that of a person with master's degree.

- (6) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する人と同等以上の学力があると認めた人で、2019年（平成31年）3月（秋入学の場合は2018年（平成30年）9月）までに24歳に達する人《注 参照》

Those who are acknowledged by KIT Graduate School to have achieved an academic level equivalent to or superior to that of a person with master's degree or professional degree, as proven by individual screening for entrance eligibility and will be at least 24 years of age by March 2019 (September 2018 for fall admissions). (See notes for details.)

《注》 (5)又は(6)の資格で出願する場合は、出願前に出願資格の認定審査を行いますので、『3 出願資格認定審査』に基づき審査の申請手続きを行ってください。

Note: For those applying under items (5) or (6) above, eligibility screening will be undertaken to verify eligibility prior to admission application; therefore, please complete formalities for the screening based on the following section "3 Eligibility Screening".

⇒ 本特別入試に出願を希望される人は、出願前に必ず指導を希望する教員と連絡をとり、研究希望・内容及び出願資格等について確認してください。

Applicants must contact a prospective supervisor of the target program prior to applying, in order to confirm their eligibility and specific research plan.

### 3 出願資格認定審査 Eligibility Screening

- (1) 『2 出願資格(5)または(6)』の資格で出願を希望される人は、以下に記載の「出願資格認定審査申請期限」までに、申請書類の提出が必要となりますので、入試課大学院入試係〔TEL (075) 724-7162〕へ問い合わせてください。

Those wishing to apply under items (5) or (6) of “2 Eligibility” above must submit application forms by the below Eligibility Screening Application Deadline contact Graduate Admissions (Tel: +81-75-724-7162) for details.

入学時期 Admission Period	出願資格認定審査申請期限 Eligibility Screening Application Deadline	出願資格認定審査結果通知 Eligibility Screening Application Results Notification
2019年04月 April 2019	2018年(平成30年)11月29日(木)16時まで 4:00pm, 29 November 2018 (Thu)	2019年(平成31年)1月4日(金)まで 4 January, 2019 (Fri)
2018年秋 Fall 2018	2018年(平成30年)6月4日(月)16時まで 4:00pm, 4 June 2018 (Mon)	2018年(平成30年)6月29日(金)まで 29 June, 2018 (Fri)

- (2) 審査の結果、出願資格を有すると認定された人は、改めて『5 出願手続』に基づき、出願手続を行ってください。

Those who are deemed eligible though the screening process must then transfer the application fee as in item “5 Application Procedures”, followed by submission of the forms/documents listed in item “6 Application Documents” (excluding documents previously submitted at the time of the above application) to Graduate Admissions during the below Application Period.

### 4 出願期間 Admissions Application Period

入試区分	インターネット出願システム入力期間及び出願書類提出期間 Internet Application Registration Period and Admissions Application Period
4月入学 April Admissions	2019年(平成31年)1月4日(金)から2019年(平成31年)1月10日(木)まで from 4 January 2019 (Fri) to 10 January 2019 (Thu)
秋入学 Fall Admissions	2018年(平成30年)6月29日(金)から2018年(平成30年)7月5日(木)まで from 29 June 2018 (Fri) to 5 July 2018 (Thu)

持参の場合は、土曜日・日曜日・祝日を除きます。受付時間は、9時から12時まで及び13時から16時までです。なお、郵送の場合は、それぞれの出願期間最終日までの消印(日本国内)があるものについて受け付けます。上記の期間内にインターネット出願システムへ入力及び検定料支払手続を行い、印刷のうえ出願書類を提出してください。

**※インターネット出願システムの入力のみでは出願手続は完了しません。必ず期間内に書類を提出してください。**

海外から直接出願しようとする人は、出願期間の1カ月前までに入試課大学院入試係及び指導を希望する教員に問い合わせてください。

The office is closed on Saturdays, Sundays and national holidays. Applications are accepted between 9:00 am and 12:00 pm and between 1:00 pm and 4:00 pm. In the case of posted applications, note that they must be postmarked (in Japan) no later than the final day of the respective application period.

Applicants must register the internet application system during the term above and submit application documents that applicants can print from the registration screen of internet application system.

**Note that the application procedure will be not completed that applicants registerd only the internet application system. Applicants must submit documents within the application period.**

Anyone applying directly from overseas should contact below and consult with a prospective supervisor of the target program at least one month prior to the application period.

## 5 出願手続 Application Procedures

出願に際しては、本募集要項等を熟読し、登録漏れ、誤りのないようにしてください。

受験票は、システム入力及び検定料支払手続終了後、各自でインターネット出願システムから印刷し、試験当日に持参してください。

すべての提出書類の右上に入学願書印刷時に付番されている「受験番号」を記載してから提出してください。

Please carefully read the entrance requirements when applying. Avoid omissions and mistakes.

Applicants must have their admission ticket that they can print from the internet application system on the examination day. The documents must be submitted after filling out “examinee’s number” displayed by each top right corner on the application forms.

### (1) 入学願書 Application forms and documents:

インターネット出願システムにて所定の事項を入力し、出願者の写真をインターネット出願システムにアップロードしてください。その後、検定料の支払手続き（6 検定料の支払 参照）を行い、入学願書を印刷、提出してください。

Applicants must register the necessary items and upload their ID photo on the internet application system. Applicants must complete payment procedures (refer to “6”) and submit application forms and documents that they can print.

### (2) 学業成績証明書 Official academic transcripts:

出身大学または在籍大学の学長または学部長（研究科長）が作成した大学院の学業成績証明書を提出してください。《注1》

Official academic transcripts of master’s program prepared by president or dean (research head) from the college or university previously or currently attended.<sup>Note 1</sup>

### (3) 修士（専門職学位）課程修了証明書 Master’s program (professional degree) completion certificate:

出身大学の修士（専門職学位）課程修了証明書。ただし、2019年（平成31年）3月（秋入学の場合は2018年（平成30年）9月）修了見込みの人は、修士（専門職学位）課程修了見込証明書とします。《注2》

Master’s program (professional degree) completion certificate or certificate of expected completion of master’s program (professional degree) for applicants expected to complete master’s program in March, 2019 (September 2018 for fall admissions).<sup>Note 2</sup>

### (4) 修士論文またはこれに相当するもの Master’s thesis or equivalent:

修士課程修了見込みの人は、修士論文の研究題目あるいは修士課程における特定の課題とその研究の進捗状況について要約した研究経過報告書を提出してください。また、他に研究発表等の参考資料があれば添付してください。《注3》

Those expected to complete a master’s program must submit the master’s thesis title or a research progress report that summarizes a specific theme for the master’s and its research progress. If any, attach reference materials, such as research publications.<sup>Note 3</sup>

### (5) 研究計画書 Research proposal:

希望指導教員と相談のうえ、教員の確認印をもらって提出してください。確認の押印がないものは、出願を認めません。

Consult your prospective supervisor (the KIT professor of the lab you propose to join) and submit your proposal after obtaining the professor’s seal for approval. Proposals without a seal of approval will not be accepted.

### (6) その他 Other:

ア. 現在、他の大学院に在学中の人は、当該大学院の受験許可書

イ. 在留資格の確認をしますので、在留カードを提示してください。

a) Those currently enrolled in a master’s program at another university must submit the entrance exam permission from the university in question.

b) Present residence card so that your resident status can be confirmed.

《注1》『2 出願資格 (5)または(6)』の資格で出願する場合は、出身大学または最終出身学校の学業成績証明書とし、学長または学部長もしくは学校長が作成したものとします。

Note 1 For those applying under items (5) or (6) of “2 Eligibility”, the official academic transcripts must be prepared by the president, dean, or school principal of the last attended university/school.

《注2》『2 出願資格 (5)または(6)』の資格で出願する場合は、出身大学または最終出身学校の卒業証明書とします。

Note 2 For those who are acknowledged as eligible under (5) or (6) of “2 Eligibility”, graduation certificates of the last attended university/school must be submitted.

《注3》『2 出願資格 (5)または(6)』の資格で出願する場合は、提出は不要です。

Note 3 For those who are acknowledged as eligible under (5) or (6) of “2 Eligibility”, the submission of this document is unnecessary.

※一部の出願書類については本学ホームページの入試情報 ([http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.html](http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.html)) よりダウンロードできます。  
Some admission application forms can be downloaded from the KIT entrance information webpage ([http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.html](http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.html)).

※その他、必要に応じて別途書類の提出を求めることがあります。

Other documents may be requested as necessary.

※前掲出願書類の提出については、証明書類のコピーは受理できません。

Copies of certificates are unacceptable when submitting aforementioned documents.

※出願書類に係る個人情報、出願後の連絡、受験資格の確認、入学者の選抜、統計調査、合格通知及び入学手続きのみに使用します。

Any personal information provided in application documents will only be used for contact purposes after application, eligibility confirmation, admission selection, statistical surveys, notification of acceptance and admission formalities.

※入学者選抜における個人の成績は、入学者選抜の他、成績管理・分析及び各種統計資料作成、入試結果調査、入学金・授業料免除申請者の選考及び奨学金申請者の採用推薦選考のみに使用します。

Academic records in admission selection will only be used for admission selection, management and analysis of academic records to compile, statistical data, investigation on entrance examination results, screening of persons applying for registration fee and/or tuition waiver and screening of scholarship applicant for recommendation.

## 6 検定料の振込 Application Fee Payment

30,000円

支払方法はコンビニエンスストア・クレジットカード・銀行ATM（ペイジー）より、選択が可能です。インターネット出願システムに表示される指示に従って、期日までに支払手続きを行ってください。なお、支払には別途手数料がかかります。（ただし、2019年（平成31年）3月（秋入学の場合は2018年（平成30年）9月）に本研究科博士前期課程修了見込みの人は、検定料は不要です。）

Applicants can select one payment method among a convenience store, a financial institution's ATM(Pay-easy), or a credit card. Applicants must complete payment procedures by following the instructions on the internet application system screen by the period. Note that the transfer fee will be charged separately. **(The application fee is not required for those who are expected to complete master's programs for the Graduate School of Science and Technology at KIT in March 2019 (September 2018 for fall admissions))**

※ 検定料の免除 Exemption from Application Fee Payment

出願期間前の概ね1年以内に、大規模な風水害等により被害を受けた人は、願い出により検定料の全額を免除することがありますので、該当すると思われる人は、検定料を支払う前のできるだけ早い時期に入試課大学院入試係に申し出てください。

Those who have suffered from severe storm, flood or other natural or man-made disaster damage within a year prior to the admission application period may be eligible for exemption by petition; therefore, anyone believing their case to be applicable should contact Graduate Admissions as soon as possible prior to transferring the Application fee.

## 7 障害等のある人との事前相談について Preliminary Consultations with Disabled Applicants

本学を志願しようとする人で、障害等のある人は、受験上及び修学上必要な配慮を行いますので、出願の前にあらかじめ本学に申し出てください。なお、出願書類提出後でも、同配慮を必要とする場合は、相談の締切日にかかわらず、速やかにご相談ください。相談が必要となる場合の事前手続は、次のとおりです。

Applicants with disabilities who wish to apply for admission should make a request to KIT prior to applying, to allow for necessary arrangements for sitting exams and studying to be provided.

Also, if consultation is deemed necessary based on a disability request, the procedures to be taken in advance are as follows.

Note also that in cases where disability considerations are found to be necessary after the admission application documents have been submitted, allowances may be made after the closing date for consultation, but consultation must be requested as early as possible.

### ① 相談の時期 Consultation period

原則として、出願期間の1週間前までに申し出てください。

As a general rule, disabled applicants must start their consultation at least one week prior to the admission application period.

## ② 相談の方法 Consultation method

相談書類（健康診断書などの必要書類）を提出してください。必要な場合は、本学において志願者の事情を説明できる人との面談を行います。

Submit consultation documents (necessary documents, such as medical examination reports). If necessary, KIT will interview someone who can speak on behalf of the applicant (parent or former teacher, etc.).

## 8 選抜方法 Selection Method

入学者の選抜は、学力検査及び書類選考により行います。

Selection of entrants will be conducted based on a combination of results of entrance exams and review of submitted application documents.

渡日前入試：受験時において海外在住の人については、希望により Skype 等を用いて口述試験を行うことがあります。

Examination from overseas: For those residing abroad at the time of the test, oral examination may take place through Skype etc., upon request.

## 9 アドミッションポリシー Admission Policy

各専攻では、専攻に係る専門的な教育研究をすることにより、以下に掲げる人材を育成します。また、この専門的な教育を修めて研究を遂行するために、以下に掲げる能力や適性を持つ人を求めます。

All programs look to provide the relevant specialized educational research to develop research students with the qualities as stated below. The programs also seek for students possessing the following abilities and attitudes required to complete their specialized education and to carry out their research.

### バイオテクノロジー専攻 Doctoral Program of Biotechnology

#### 人材育成の目標 Aims and Purposes

分子から生態までの広範な領域の生命現象に関する基礎知識を修得するとともに、その有効利用のためのバイオテクノロジーを活用して、ワールドワイドに広い分野で活躍できる研究者・リーダー的技術者の育成を目指します。

This program aims to cultivate researchers and leading engineers who can play an active role globally in a wide range of fields by acquiring basic knowledge of a wide array of life phenomena from molecular biology to ecology and applying biotechnology for the effective use of such knowledge.

#### 選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

生物学、生物化学に関し特に優れた知識を有し、実験科学に関する豊かな創造性、英文の読解や表現に優れた人を求めます。

Successful applicants must have exceptionally good knowledge of biology and biochemistry, a profound sense of creativity for experimental science, and excellent English textual comprehension and writing skills.

#### 求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

- ・ 生命と自然に対する敬愛 Respect for life and nature
- ・ 探求心と観察力 Inquisitive mind and observational skills
- ・ 柔軟な発想 Flexible thinking
- ・ 独創的チャレンジ精神 Originality and challenging spirit
- ・ コミュニケーション力 Communication skills

### 物質・材料化学専攻 Doctoral Program of Materials Chemistry

#### 人材育成の目標 Aims and Purposes

物質・材料化学専攻では、生体機能への化学的アプローチ（バイオインスパイアード化学）、ナノ・マテリアル、精密物質設計・合成（モレキュラーデザイン）、ソフトマテリアル、フォトエレクトロニクスなどの領域における教育研究を通じて、次代を担う革新的な物質・材料開発研究において基礎及び応用の両面で先導的な役割を果たす、創造性豊かで実践的外国語能力や国際経験を持ち国際舞台で活躍できる優れた人材の育成を目指します。

This program aims to cultivate outstanding individuals who will take leading roles in both basic and applied research on development of innovative materials for the next generation, and can play an active role in the global arena by tapping into their profound creativity, practical skills in foreign languages, and international experience. Toward this goal, the Doctoral Program in Materials Chemistry provides education and research in such fields as chemical approaches to biological functions (bio-inspired chemistry), nano materials, design/synthesis of precision materials (molecular design), soft materials, and photoelectronics.



## 選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

物質・材料化学における開発研究に強い興味と意欲を持ち、創造的研究を遂行する上で不可欠な基礎知識、英語の理解力及び問題解決能力を備え、国際感覚に優れた人材を求めます。

Successful applicants must have a strong interest in and desire to conduct research on development in materials chemistry, and possess the basic knowledge necessary to perform creative research, good English comprehension, and problem-solving skills.

### 求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

- ・ 自然科学全般及びその社会貢献への関心 Interest in natural science in general and its contribution to society
- ・ 物質・材料化学の研究に関する素養 Knowledge of research on materials chemistry
- ・ 基礎的な研究立案能力及び論文作成能力 Faculty to draw up basic research projects and write theses
- ・ 論理的思考力 Logical thinking
- ・ 英語によるコミュニケーション能力 Communication skills in English

## 電子システム工学専攻 Doctoral Program of Electronics

### 人材育成の目標 Aims and Purposes

エレクトロニクス基盤技術や情報通信技術を修得するとともに、電子システム工学に関する高度な専門性を基盤として特定の課題を探求し解決する能力を有し、俯瞰的視野に立って課題発見能力を有する人材、さらに、課題解決が社会に提供する価値を最大化する方向に向けて知の構造化、再構成をはかる能力を有する人材の育成を目指します。

This program aims to cultivate individuals who have acquired basic electronics skills as well as information and communications technological abilities, who are capable of investigating and resolving specific issues based on advanced specialization in electronic systems engineering, and who are able to identify issues from a comprehensive perspective. The Doctoral Program in Electronics also aims to develop individuals who are capable of structuring and reconstructing knowledge in an attempt to maximize the values that their solutions can offer to society.

### 選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

修学及び研究活動に必要な英語力並びに専門基礎学力を求めます。

Successful applicants must have English proficiency necessary for their learning and research activities and basic academic skills in their areas of specialty.

### 求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

- ・ 電子システム工学に関する専門知識 Specialized knowledge in electronic systems engineering
- ・ 論理的な思考力と設計能力 Logical thinking and design capability
- ・ 数理的解析能力 Mathematical analysis skills
- ・ 感性と創造力 Sensibility and creativity
- ・ 自己表現能力 Self-expression skills
- ・ チャレンジ精神と行動力 Challenging spirit and the ability to take action

## 設計工学専攻 Doctoral Program of Engineering Design

### 人材育成の目標 Aims and Purposes

設計工学専攻を構成する個別工学分野における高度の専門性を習得し、研究・開発を創造的に展開できる能力を有する人材の育成、個別工学の専門を基盤として、ものづくりを価値基準設定から設計、製作、評価へと展開する設計工学の手法を習得した人材の育成を目指します。

This program aims to cultivate individuals who are capable of engaging in research and development in a creative manner by acquiring advanced specialization in the individual engineering fields that constitute the engineering design program and those who have, based on such specialization, acquired engineering design techniques for the entire manufacturing process from setting of values and design to production and evaluation.

### 選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

個別工学分野の高度の専門性を習得するための基礎学力、ものづくりの創造的な展開に対する意欲と実行力、グローバルに活動を展開するための言語運用能力等を選抜の基準とします。

Successful applicants must have the basic academic skills necessary to acquire advanced specialization in individual engineering fields, a desire and execution ability for creative evolution of manufacturing, and the language proficiency necessary to act globally.



### 求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

- ・ 個別工学の専門性を深めるための基礎学力を有し、既成概念にとらわれない判断力を有する人  
Basic academic skills necessary to deepen specialization in individual engineering fields and judgment that is not bound to fixed ideas
- ・ 個別工学の枠を越えたものづくりを創造的に開拓・展開しようとする意欲と実行力を有する人  
Desire and practical ability to creatively explore and evolve manufacturing beyond the framework of individual engineering fields

## デザイン学専攻 Doctoral Program of Design

### 人材育成の目標 Aims and Purposes

#### ①デザイン学領域

専門的デザイン能力をベースに、京都独自の伝統意匠の理論・方法論も活かして革新的な製品やサービスをデザインするとともに、社会問題を解決できるデザイン能力、発見能力を持つ。また、海外招聘のデザイナーや研究者の指導のもと、異分野混合チームでのプロジェクト等を経験させることで、国際的に展開・実装する能力を修得させる。

#### ②価値創造学領域

美術、デザイン、建築などの作品や作者についての深い洞察に根ざした「論理構築」とキュレーション（展示企画）の実現と、作品や作者の「価値」をみずからの視点で言葉や展示にして、世界に発信することができる人材の育成を目的とする。

#### (1) Design

This module aims to develop individuals who are capable of designing innovative products and services based on their specialized design skills and who can simultaneously harness the theories, methodologies and traditions of design that are unique to Kyoto. They should possess the ability to make new discoveries and be able to creatively resolve social problems. Working with and under the mentorship of designers and researchers from abroad, students will gain the experience of working with people from other fields in a multidisciplinary project team. In this way, they will acquire the necessary skills to develop and implement their designs internationally.

#### (2) Curation and Interpretation

This module aims to cultivate individuals who are capable of "logic construction" and "exhibition curation" rooted in a profound insight into art, design, and architectural works and their creators. They should be able to unlock and interpret the value and meaning of such works and their creators and translate this into words and exhibits based on their own perspectives.

### 選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

デザインに関する応用的・横断的知識と制作経験を持ち、柔軟で独創的な発想力を備え、深いデザインとその周辺知識に加え実践的なデザイン方法論を研究・実践していく意欲ある人を求めます。また、知識習得並びに理論的研究のみならず、美術館・博物館での展示等の社会的実践に繋げていく意欲のある人を求めます。

Successful applications must have an applied/cross-disciplinary knowledge of design and production experience, flexible and original ideas, in-depth knowledge of design and its relevant fields, and a desire to study and implement practical design methodologies and outputs. They should also have the desire not only to acquire knowledge and study theory but also connect this to social practices in the form of exhibitions at art galleries and museums, and other venues.

### 求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

- ・ 美に対する感受性 Aesthetic sensitivity
- ・ 人間や環境に対する深い関心 Deep interest in humanity and the environment
- ・ 理論と実践のバランス Balance between theory and practice
- ・ 独創的な思考力と展開力 Original thinking and the ability to generate and realise ideas
- ・ 強い意欲と行動力と実装力 Strong desire and ability to take action and implementation skills

## 建築学専攻 Doctoral Program of Architecture

### 人材育成の目標 Aims and Purposes

本専攻は、博士前期課程同様に、京都において都市・建築学を学ぶことの意味を最大限に活かした教育・研究を行う。地球規模で考えながら、京都という場でしか掴み得ない能力を磨くこと。本専攻ではこれを「KYOTO デザイン」と銘打って教育、研究、実務を行い、地域と歴史に根ざすとともに国際的な競争力のある高度な都市・建築専門家及び高い専門性を持つ自立した研究者を育成する。博士前期課程で身に付けた知識・技能あるいは、実社会で身に付けた実践的設計能力と実績に基づいて、後期課程では、より高度な設計哲学とそれに基づく実践的な設計能力の評価、さらに、研究者・教育者としてのより専門性の高い研究を実践する。具体的には、都市や建築のストック評価のための建築史、再生・活用のための計画論、そしてそれらを具体的な都市空間や建築として統合するための表現論といった3

つの領域に対して、それぞれ研究を行い、新たな設計論、空間理論を構築するとともに、それを実践した建築作品の専門誌への作品掲載、様々な建築設計競技へのエントリー、または学会誌への掲載を経て、それらを統合する形での統合論文をもって学位授与対象として審査を行う。また、建築ストックの保全や都市再生に関わる技術・技能に関してより専門性の高い研究を行い、新たな技術や理論を開拓する。具体的には、ストック評価のための建築史、建築の用途変更や保全のための新たなサステナビリティ計画論、既存の構築物を診断、補強するための建築保存工学、修復・再生のための保存活用デザイン、ストックを社会的に扱うための再生マネジメントの5つの分野に対して、それぞれ調査・研究を行い新たな技術・理論の開拓を行う。その結果として、そうした新たな技術や理論を自ら開拓でき、さらにそれを背景として、ストック社会の構築をリードできる人材が養成される。

Similar to the corresponding Master's Program, the Doctoral Program in Architecture conducts education and research in urbanology and architecture in such a way that maximizes the strategic advantage of the Institute, namely, its location in Kyoto. Students are encouraged to think globally and hone their abilities that are obtainable only in Kyoto. Under the banner of "Kyoto Design," this program engages in education, research, and project implementation, thereby nurturing both top-notch urban and architectural design professionals who are well versed in local and historical topics and capable of competing in the international arena and self-sustaining researchers with a high degree of specialization.

Based on their knowledge and skills acquired through the Master's Program or their practical design capabilities acquired in the real world and resultant track records, students enrolled in this program are expected to evaluate more highly advanced design philosophy and the practical design capacity based on such philosophy, and to conduct more specialized research as both a researcher and educator. In more concrete terms, students are required to conduct research in the three areas of: architectural history for evaluating the stock of urban and architectural heritage sites and buildings, planning theory for revival and utilization of the stock, and expression theory for integrating the stock into specific urban space and architecture, thereby constructing new design and spatial theories. Students are then encouraged to submit their architectural works to which such theories have been applied to be published in technical journals, apply for entry into various architectural design competitions, and submit papers to be published in academic bulletins. A thesis integrating all of the above will then be screened for conferral of degrees.

Students are also required to conduct more specialized research on technology and skills that concern the preservation of architectural stock and urban revival so that they can develop new technologies and theories. Specifically, students will conduct investigations and research in each of the five fields of: architectural history for evaluation of stock, new sustainability planning theory for the preservation and alternative application of architecture, architectural preservation engineering for diagnosis and reinforcement of existing structures, preservation/utilization design for restoration and revival, and revival management for handling stock in a social context. As a result of these endeavors, students will be able to develop such new technologies and theories, which will then enable them to take the lead in establishing a stock-oriented society.

#### **選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy**

国際的な競争力のある高度な都市・建築専門家及び高い専門性を持つ自立した研究者になるための素養を持ち、なおかつ、京都において都市・建築学を学ぶことの意味を理解し、地球規模で考えながら、幅広い建築学の能力を磨く強い意志を持っている人を求めます。

Successful applicants must have the knowledge necessary to become both internationally competitive urban/ architecture design professionals with advanced expertise and independent researchers with a high level of specialization who understand the meaning of learning urbanology and architecture in Kyoto, think globally, and are strongly driven to hone their wide range of competencies in architecture.

#### **求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes**

- ・ ストック評価のための建築史 Architectural history for evaluating stock
- ・ 建築の用途変更や保全のための新たなサステナビリティ計画論  
New sustainability planning theory for preservation and alternative application of architecture
- ・ 既存の構築物を診断、補強するための建築保存工学  
Architectural preservation engineering for diagnosis and reinforcement of existing structures
- ・ 修復・再生のための保存活用デザイン Preservation and utilization design for restoration and revival
- ・ ストックを社会的に扱うための再生マネジメントなどの分野に対して、調査・研究を行い新たな技術・理論の開拓を行うための適性と能力

Aptitudes and competencies required to conduct investigations and research in such fields as revival management for handling stock in a social context, and to explore new technologies and theories

## 先端ファイブ科学専攻 Doctoral Program of Advanced Fibro-Science

### 人材育成の目標 Aims and Purposes

テキスタイルサイエンス・エンジニアリングを基礎とする「人と環境に優しいものづくり」に関する教育研究活動を通して、自らの力で研究開発目標を設定し、それを具現化するための技術課題を見出し、さらには解決することができる総合的に優れた国際的に通用する人材を育成することを目標とします。また、留学生として、グローバルな世界で、先端ファイブ科学の総合力を活用できる人材を育成することを目標とします。

This program aims to cultivate individuals who are capable of taking on international challenges through their overall abilities, which include setting their own research/development goals, identifying technical challenges for pursuing such goals, and offering solutions, through their education/research activities concerning “human- and environment-friendly manufacturing” based on textile science and engineering.

### 選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

自然科学に関する基礎学力を備え、自身の研究に閉じこもること無く広く知識を得ようとする深い感性と、問題を発見・解決し、それを論理的に説明する能力があり、研究成果が社会に還元できるよう常に自ら思考し実行する情熱と忍耐力のある人を求めます。

Successful applicants must have basic academic skills in natural science, a profound sensibility that prompts them to seek broader knowledge without confining themselves to their own research, the ability to identify, resolve, and logically explain problems, and the passion and perseverance to always think and act for themselves so that their research findings can be fed back to society.

### 求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

エンジニアリングデザイン能力：社会の要求を解決するために、他人と協調して新しいテキスタイルエンジニアリング技術を創出することができる。

専門性と創造力：ファイブ素材やその利用製品の設計、開発、評価技術に関して高い専門性を有し、新たな人に優しいファイブ製品を創造することができる。

コミュニケーション能力：国内外を問わず、専門的な内容の論理的な文章の記述、口頭発表及び討論ができ、また、背景の異なる他人や組織を相手に自分の意見を的確に伝えることができる。

Engineering design skills: Ability to create innovative textile engineering technology through cooperation with others, with a view toward offering solutions to social needs

Specialization and creativity: Ability to create innovative, human-friendly products from fibrous materials by tapping into advanced specialization in design, development, and evaluation techniques for fibrous materials and products made with such materials  
Communication skills: Ability to logically write, orally present, and discuss technical content in any regional setting, and to accurately convey their views to individuals and organizations from different backgrounds

## バイオベースマテリアル学専攻 Doctoral Program of Biobased Materials Science

### 人材育成の目標 Aims and Purposes

これからの世界で主力となるバイオベースプロダクトに対する深い知識を持つだけでなく、学修・研究成果を国際社会の中で活かすための方向性を理解し、バイオベースマテリアルの開発において研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度な研究能力及びその基礎となる豊かな学識を持ち、世界をリードできる人材を育成する。

This program aims to cultivate human resources who can lead the incoming circulating society by tapping into their deep knowledge of biobased materials (BBMs). They are expected to gain an understanding of the importance of BBMs for the global environmental conservation in order to keep off the over-exploitation of fossil resources. They also have to understand the directions to take in order to apply their learning/research findings in international society, and their advanced research skills and underlying profound learning necessary to conduct research activities as independent researchers in the development of biobased materials.

### 選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

将来にわたって豊かな人間生活を保持するために持続可能な社会を実現する必要性を理解し、有機化学、物理化学、生化学、高分子化学、材料科学の内の少なくとも一つに十分な知識を有し、かつ他分野の知識の習得とバイオベースマテリアルの研究に意欲的に取り組み、その実現を目指す人を求めます。

Successful applicants must understand the need to realize a sustainable society in order to maintain affluent human lifestyles into the future and aim for such realization, with ample knowledge of at least one field from among organic chemistry, physical chemistry, biochemistry, macromolecular chemistry, and materials science, and a desire to acquire knowledge in other fields and conduct research on BBMs.

### **求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes**

- ・ バイオベースマテリアル (BBM) に対する強い興味と関心 Strong interest in and curiosity about BBMs
- ・ 応用化学、生物工学、または材料科学に関する十分な基礎知識  
Sufficient basic knowledge of applied chemistry, biotechnology, or materials science
- ・ 新しいBBM開発やBBMのさらなる展開を目指す強い意志と、関連分野の学修に対する旺盛な意欲  
Strong will to develop new BBMs and further promote research related to BBMs, and a pronounced desire to learn about related fields
- ・ 国際的な舞台で、創造的に新しい社会を開拓しようとする意欲と行動力  
Desire and practical ability to creatively develop a new society in the international arena

## **10 学力検査日時、検査方法及び場所等 Examination Date, Place and Method**

### **(1) 学力検査日時 Examination subjects and schedule**

4月入学：2019（平成31年）1月31日（木）

April admissions: 31 Jan.2019 (Thu)

秋入学：2018（平成30年）8月21日（火）

Fall admissions: 21 Aug.2018 (Tue)

(2) 検査方法 Examination Method

専攻名 Doctoral Program	区分 Classification	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内容 Content
先端ファイブ科学専攻 Doctoral Program of Advanced Fibro-Science	口述試験 Oral exam	13:00～ (海外在住で渡日前の口述試験を希望する場合は、時間を調整のうえ、Skype等を利用して行う) Those who reside abroad may, upon request, have an oral examination using Skype (or other online video chat application) mutually agreed.	300	英語能力及び研究分野に関連した科目についての専門的学力、修士論文、研究経過報告書、研究計画書等について実施する。 Questions on specialized knowledge, master's thesis, research progress report, research proposals concerning subjects related to the field of study.
上記を除く専攻 All other programs		13:30～ (海外在住で渡日前の口述試験を希望する場合は、時間を調整のうえ、Skype等を利用して行う) Those who reside abroad may, upon request, have an oral examination using Skype (or other online video chat application) mutually agreed.		

(3) 試験場 Examination Rooms:

京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス (京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地)

試験室等は、次の日までに本学のホームページ ([http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.html](http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.html)) 及び入試課前掲示板に掲示します。

① 2019年4月入学: 2019年(平成31年)1月30日(水)

② 2018年秋入学: 2018年(平成30年)8月20日(月)

KIT Matsugasaki Campus (1 Hashikami-cho Matsugasaki Sakyo-ku, Japan)

Examination rooms will be posted on the KIT Admissions Office bulletin board and on KIT's homepage ([http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.html](http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.html)) by the following dates.

① April admissions 2019: 30 Jan 2019 (Wed).

② Fall admissions 2018: 20 Aug 2018 (Mon).

(4) 受験についての注意 Examination Precautions

共通の注意事項 Common Precautions for All Students

- ① 受験者は、試験の当日インターネット出願システムより印刷した受験票を持参し、監督者等の指示に従って提示してください。持参していない場合は、受験できないことがあります。万一、紛失した場合または忘れた場合は入試課へ申し出てください。

Examinees must present their admission ticket that they have printed from the internet application system on the examination-day and follow the supervisor's directions. Examinees without admission tickets may not be able to take the examination. If you have lost or failed to bring your admission tickets, please inform the Admissions office.

- ② 受験者は、試験の当日試験開始30分前までに試験場に到着してください。

Examinees should arrive at the examination room 30 minutes before the examination starts.

- ③ 受験者は、各試験科目開始20分前までに所定の試験室に入り、自分の受験番号の席に着いてください。Be certain to enter the examination room 20 minutes before the start of each specific examination subject and be seated at the desk which has your examinee number.

- ④ 試験開始後、試験室に30分以上遅刻してきた場合は受験することができません。

Examinees arriving later than 30 minutes after the scheduled starting time will not be allowed to take the examination.

- ⑤ 指定の科目等を1科目でも受験しなかった場合は、全試験を放棄したものとみなされ、以後は受験することができません。

Examinees who do not take ALL the designated subjects are disqualified and will not be permitted to take the examination again at a later date.



- ⑥ 試験には、黒鉛筆またはシャープペンシル及び消しゴムを持参してください。  
Examinees should bring black pencils and/or black mechanical pencils and erasers to the examination.
- ⑦ 試験中は、受験票並びに監督者の指示するもの以外は机の上に置いてはいけません。  
Examinees must not place any objects on the desks apart from single function watches (or those with alarms) and/or other objects mentioned by the examination supervisors.
- ⑧ 試験中不正行為をした者及び不正行為とみなされる行動があった者、または監督者の指示に従わない者は、直ちに受験の停止を命じます。  
Examinees who act, or are deemed to have acted, dishonestly or who do not follow the instructions of the supervisor during the examination will be commanded to immediately stop taking the examination.
- ⑨ 身体の都合等により定められた試験室において受験することが困難と思われる人は、事前に入試課に申し出てください。  
Examinees who are physically unable to take the examination in the designated examination room should consult the Admission office in advance.
- ⑩ 試験時間中に気分が悪くなったり、受験することが困難と思われた人は、監督者に申し出て、その指示に従ってください。この場合、医務室で一時休養の後、試験室に復帰することは可能ですが、試験時間の延長は認めません。また、次の試験時間の遅刻限度を超過した場合は、当該試験の受験も認めません。  
If you become ill during the examination, and cannot continue, inform the examination supervisor and follow his/her instructions. You may come back to the examination room if you feel better after resting at the clinic. Note that no extension of examination time will be accepted. In addition, if you are more than 30 minutes late for the next examination subject, you will not be allowed to take the next examination.
- ⑪ 計時以外の機能が付いた時計及びこれと同様の機能をもつ文房具の持込を禁止します。  
Only single-function clocks (or those with alarms) are allowed on the examination desk. Pens, pencils, erasers, etc. must also be single-function implements.
- ⑫ 携帯電話は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し電源を切ってカバン等の中にしまっておいてください。携帯電話を時計として使用できません。また、時計もアラームの設定を解除し、鳴らない状態にしておいてください。  
Before entering the examination room, turn off all mobile phone alarms and completely switch off the power. Mobile phones must be stored in your bag during the examination and must not be used as clocks. If your clock has an alarm function it must be turned off so that it does not ring.
- ⑬ 文字や数式等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は、裏返して着ていただくことがあります。座布団と膝掛けは、文字や数式等がプリントされていないものに限り使用を認めます。  
Examinees must not wear clothing that is printed with writing, numerical formulas and/or any other such symbols. If found to be wearing such clothing, the examinee concerned may be asked to wear the clothing inside out. Lap robes are allowed provided they too are not printed with writing, numerical formulas and/or any other such symbols.

## 11 合格発表      Announcement of Successful Applicants

次の日時に合格者の受験番号を本学のホームページ ([http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.html](http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.html)) に発表します。  
なお、同時に合格者には、受信場所宛に合格通知書を郵便により送付します。

4月入学：2019年（平成31年）2月13日（水）17時（予定）

秋入学：2018年（平成30年）9月4日（火）17時（予定）

The application numbers of successful examinees are scheduled for posting on the KIT homepage ([http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.html](http://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.html)) on the following dates. Note also that notifications of acceptance will be simultaneously posted to the successful applicants.

April admissions: 13 February 2019 (Wed), 5:00pm

Fall admission: 4 September 2018 (Tue), 5:00pm

## 12 入学手続 Enrollment Formalities

合格者は、次の日時に入学手続を行ってください。なお、入学手続書類は、合格通知書に同封します。

4月入学：

大学において、直接入学手続を行う場合 2019年(平成31年)3月27日(水)9時から17時まで  
郵送により入学手続を行う場合 2019年(平成31年)3月22日(金)から2019年(平成31年)3月27日(水)17時必着)まで

秋入学：

大学において、直接入学手続を行う場合 2018年(平成30年)9月13日(木)9時から17時まで  
郵送により入学手続を行う場合 2018年(平成30年)9月7日(金)から2018年(平成30年)9月13日(木)(17時必着)まで

Successful examinees should complete the enrollment procedures on the following dates and times. Note that enrollment documents will be enclosed with the acceptance notifications.

April admissions:

Face-to-face enrollment procedure at KIT: Between 9:00 am and 5:00 pm on 27 March 2019 (Wed)

Postal enrollment procedure: Enrollment forms must arrive at KIT between 22 March 2019 (Fri) and 27 March 2019 (Wed), and no later than 5:00 pm, on the final day.

Fall admissions:

Face-to-face enrollment procedure at KIT: Between 9:00 am and 5:00 pm on 13 September 2018 (Thu)

Postal enrollment procedure: Enrollment forms must arrive at KIT between 7 September 2018 (Fri) and 13 September 2018 (Thu), and no later than 5:00 pm, on the final day.

## 13 入学に要する経費 Registration Fees

(1) 入学料 282,000円

Registration fee: 282,000 yen

(ただし、2019年(平成31年)3月(秋入学の場合は2018年(平成30年)9月)に本研究科博士前期課程を修了し、引き続き2019年(平成31年)4月(秋入学の場合は2018年(平成30年)10月)に本研究科博士後期課程に進学する人は不要です。)

Persons completing the master's program for the Graduate School Science and Technology at KIT in March 2019 (September 2018 for fall admissions) and continuing their studies in the relevant doctoral program in April 2019 (October 2018 for fall admissions), are not required to pay the registration fee.

(2) 授業料 267,900円(半期) 535,800円(年額)

Tuition: 267,900 yen (bi-annually), 535,800 yen (annually)

① 入学料及び授業料の額については、改定される場合があります。

The registration fee and tuition are subject to change.

② 入学料の納入は、入学手続時に行います。入学時に入学料及び授業料が改定された場合は、改定後の入学料及び授業料の額が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料の額が適用されます。

Payments of registration fee must be made at the time of enrollment. In cases where registration fee and tuition are revised at the time of enrollment, the new fees will apply. If tuition is revised while students are enrolled at KIT, the new tuition will apply from the time of revision.

③ 授業料の納入は、年間の授業料について、前期及び後期の二期に区分して行います。納入月は前期は4月、後期は10月で、それぞれの期において納入する額は、年額の二分の一に相当する額です。

Tuition payments will be divided into two payments, one in the first semester and the other in the second semester. The first semester payment will be in April and the second in October, the amount of each semester being equivalent to half of the annual amount.

④ 入学時及び前期の納入月に年額授業料を一括して納入することもできます。

The annual tuition can be paid in one lump sum at either the time of enrollment or the month of the first semester payment.

⑤ 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

Once paid, the registration fee cannot be returned, for any reason.

- ⑥ 入学手続き時に授業料を納入した後で、2019年（平成31年）3月29日（秋入学の場合は2018年（平成30年）9月26日）までに入学を辞退した場合は、申し出により当該授業料相当額を返還します。

If students have withdrawn from KIT by 29 March 2019 (26 September 2018 for fall admissions) after tuition payment at the time of enrollment procedures, the equivalent amount will be refunded upon request.

- (3) 学生教育研究災害傷害保険料

3年間の保険料 2,600円（予定）

Personal accident insurance for students pursuing education and research Insurance fee for 3 years 2,600 JPY (scheduled)

- (4) 学生教育研究災害傷害保険付帯賠償責任保険料

3年間の保険料 1,020円（予定）

Liability insurance for students pursuing education and research Insurance fee for 3 years 1,020 JPY (scheduled)

- (5) その他、必要に応じて納入する諸費用があります。

・納入方法の詳細については、合格通知書に同封します。

・2019年3月29日（秋入学の場合は2018年9月26日）までに入学を辞退した場合、入学料以外を返還します。返還の方法については学務課学務企画係に連絡してください。

Additionally there are various charges delivered as the need arises.

・ It is enclosed with notifications of acceptance about details of payment method.

・ If students have withdrawn from KIT by 29 March 2019(26 September 2018 for fall admissions), the amount except the registration fee will be refunded. Please inform an inquiry of the last page of a way of return.

## 14 その他 Other

- (1) 本特別入試により4月に入学する人の学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わります。

The academic year for successful applicants enrolling through this admission program will be 1 April through 31 March of the following year for April admissions.

- (2) 授業はすべて日本語で行われるので、日本語の能力が十分でない人は、日本語の予備教育を受けておくことが望まれます。

All classes will be conducted in Japanese – therefore, those who are not sufficiently proficient in Japanese are advised to study the Japanese language intensively.

- (3) 出願資格について不明な人は、2018年（平成30年）11月下旬（秋入学の場合は2018（平成30年）5月中旬）までに入試課大学院入試係において確認してください。

Anyone unclear about his/her admission eligibility should contact the Graduate Admission by the end of November 2018 (middle of May 2018 for fall admissions).

- (4) 住まいについて Information on accommodation

・ まりこうじ会館（留学生用の宿舎） Marikouji Kaikan (accommodation for international students)

留学生等用の宿舎については、国際課留学生係へ問い合わせてください。

For information on accommodation for international students, please contact KIT International Affairs Office.

・ 松ヶ崎学生館 College House Matsugasaki

松ヶ崎学生館は、松ヶ崎キャンパス西側に隣接し、本学学生や提携大学留学生等が入居することができる個室タイプの居住用施設です。

松ヶ崎学生館については、本学ホームページ及び次に記載する管理・運営業者にお問い合わせください。

◇京都工芸繊維大学HP

大学 HP トップ>学生生活>生活支援>住まい

- (ア) UniLife 松ヶ崎北山通店（フリーダイヤル0120-998-521）

College House Matsugasaki is adjacent to the west side of the Matsugasaki campus and provides private rooms for KIT and partner university international students. For details, please refer to KIT's homepage or inquire below.

- (イ) KIT Homepage

<https://www.kit.ac.jp/en/facilities-services/accommodation/>

- (ウ) J.S.B Kyoto Co., Ltd.(toll free 0120-998-521)

- (5) 日本政府奨学金による留学（国費外国人留学生）を希望する人は、各国の日本公館にお問い合わせください。  
Those wishing to apply for a Japanese government scholarship to study in Japan at KIT (government sponsored foreign student) should contact the Japanese diplomatic office in their respective countries.
- (6) 入学金・授業料の納入が経済的理由により困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、願い出により選考のうち、入学金・授業料の全額または半額を免除もしくは入学金・授業料の徴収が猶予される制度があります。（詳細は、学生サービス課奨学支援係へお問い合わせください。）

In cases where students' finances make it difficult to pay registration fees and/or tuition and they are recognized as high academic achievers, they may request a waiver from paying half or all of the fee/tuition and/or receive a fee/tuition payment postponement, after the screening based on application.

- (7) 本学独自の奨学金制度として国立大学法人京都工芸繊維大学基金奨学生制度があります。  
本学大学院博士後期課程に在学する優秀な学生を対象としており、願い出により選考のうち、奨学金の給付を受けることができます。（国費外国人留学生を除く）  
KIT now offers an original scholarship system.

This scholarship is for doctoral program students with excellent academic ability, and will be granted to the applicants who successfully pass the scholarship selection (government sponsored international students are excluded).

- (8) 入学時まで次のいずれかの在留資格を有していることが必要です。  
Incoming students must have one of the following residence statuses at time of enrollment.
- ア. 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）別表第1に定める「留学」  
“Student” as prescribed in Annex No. 1 of Immigration Control and Refugee Recognition Act (Cabinet Order No. 319 of 1951)
- イ. 上記の「留学」以外の在留資格で、「留学」に変更することが可能な在留資格または変更を要しない在留資格  
A residence status other than “Student” that can be changed to “Student” status or a residence status that does not require changing

## 15 注意事項 Cautions

- (1) 出願資格を有しない志願者の出願書類は、受理しません。  
The application documents of those who are not eligible will not be accepted.
- (2) 出願書類等に次のような不備がある場合には、受理しないことがあります。  
The following types of incomplete application forms may not be accepted.
- ① インターネット出願システム上で出願処理が完了していない場合  
Application process has not been completed on the internet application system.
  - ② 出願書類がそろっていない場合  
Missing application forms/documents
  - ③ 出願書類の記載が不完全な場合  
Application forms/documents which have not been completely filled out
  - ④ 検定料が支払われていない場合  
Application fee has not been paid
- (3) 出願書類の提出後は、記載事項の変更は認めません。また、検定料及び出願書類（修士論文を除く）はいかなる理由があっても返還しません。  
ただし、次の場合には、検定料の返還請求ができます。  
Changes to the entries in application forms/documents will not be permitted after submission. Furthermore, neither the application fee nor the application forms/documents (except master thesis) will be returned, under any circumstances.  
However, in the following cases, a refund of the application fee can be requested.
- ① 検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかったまたは出願が受理されなかった）場合  
The applicant paid the application fee but did not submit the application forms/documents or application was not accepted.
  - ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合または金額を誤って払い込んだ場合  
The applicant mistakenly paid twice or paid an incorrect amount.

\* 検定料返還請求の方法については、入試課大学院入試係へお問い合わせください。

Please contact Graduate Admissions for details on how to request a refund for application fee.

(4) 出願書類等の提出書類に虚偽の事項を記入したことが判明した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。

In cases where false statements are discovered in application forms/documents, admission may be cancelled even after enrollment procedure has been completed.

(5) 合格発表後、出願書類のうち修士論文の返却を希望する人は、出願時に申し出てください。

Please inform the Admissions at the time of application if you wish to have your master's thesis returned after the announcement of successful applicants.



## 問い合わせ先 Inquiries

### ○大学院入試全般について **General inquiries on graduate admissions**

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地 京都工芸繊維大学 入試課大学院入試係

TEL : 075 - 724 - 7162 e-mail : innyushi@kit.ac.jp

KIT Graduate Admissions

1 Hashikami-cho Matsugasaki Sakyo-ku, Kyoto 606-8585 Japan

Phone : +81 - 75 - 724 - 7162 e-mail: innyushi@kit.ac.jp

### ○入学手続について **Inquiries on enrollment procedures**

学務課学務企画係 Educational Affairs Office

TEL : 075 - 724 - 7133 Phone : +81 - 75 - 724 - 7133

### ○入学料・授業料の免除制度及び奨学金制度について

**Inquiries on registration fee and/or tuition exemption system and scholarship system**

学生サービス課奨学支援係 Student Affairs Office, Financial Aid

TEL : 075 - 724 - 7143 Phone : +81 - 75 - 724 - 7143 e-mail : shogaku @ jim.kit.ac.jp

### ○留学生用の宿舎（まりこうじ会館）等について **Inquiries on accommodation for international students**

国際課留学生係 International Affairs Office, Student Exchange Services

TEL : 075 - 724 - 7132 Phone : +81 - 75 - 724 - 7132